京城日報

一月三十日夕刊（朝夕併せて八頁）

本紙定價 一部金參錢 一ケ月金七十五錢 前金 六ケ月四圓 一ケ年八圓 ▲郵税 一ケ月金十二錢 六ケ月同 一ケ年同 ▲外國郵送料別
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢 ▲別二號七字詰同二圓 ▲同二號九字詰同三圓 ▲一號八字詰同二圓 ▲同六號十四字詰同一圓五十錢
發行兼編輯人 奧田直 印刷人 小川三之 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯用三六六千九番 營業用三六六千九番 振替京城三〇〇番

時間表（大正七年七月一日改正現行）

[illegible]

第四十一回帝國議會

衆議院豫算總會（二十九日）

質問戰容易に盡きず＝二日間延長

▲佐々木平次郎氏（新政）（朝刊より續く）午後一時十分再開日露漁業條約は來る七月を以て改訂期限となるが政府の所見如何と質す

▲内田外相 露國の現狀混亂し居るを以て當分延期の外無からん、佐々木氏更に沿海州漁業に就て政府の所見如何、外相充分調査を遂げ最善の法を講ず可しと答ふ、佐々木氏引續き質問を續じ兵士に對する給與額に就き質し陸相との間に二三問答あり次に

▲高木正年氏（政） 起立一般財政計畫に就き二三項目を擧げて質問す

▲高橋藏相 戰時利得稅廢止、官吏增俸等に就き答辯す。高木氏更に物價調節に就き質し藏相之に答へ尚通貨收縮其他に就き押問答あり終つて高木氏質問一轉文相に對し國民の貧窮に苦むは小學校教育なるが之に就き當局は救濟の途を講ぜず高等學校にのみ力を注ぐは如何と詰め寄る之に對し

▲中橋文相 は銳に貴族院に於て爲せると同樣の答辯を爲し引續き高木氏の希望と質問とを混ぜる演說あり更に氏は植民地統治問題に就き首相の意見を求む

▲原首相 朝鮮臺灣等の植民地に於ける統治に就ては總て總督に一任しあるを以て余は贅せずと答へ尚ほ數同制令、律令の改廢に就き應酬あり次で

▲柏原文太郎氏（國民） 海軍擴張の計畫あるは知る所なるも陸軍に於ては如何と問ふ首相軍備は時宜により擴張することあるべしされど陸軍が將來擴張の方針を有するや否やは玆に言明し難しと答ふ柏原氏は更に海軍に就ても財政を顧慮し出來得る限り整理して支出額を僅少ならしむる方針を採られたし之れに對する政府の考慮如何と質す

▲加藤海相 之に就ては予も又柏原君の說に同意なり夙に實行しつゝありと答ふ柏原氏は更に陸軍現役制度擴張如何を質す

▲田中陸相 現役擴張の要を認めず又教育に就ては歐洲大戰に鑑み多少改良すべき點あるを察し考慮を拂ひ居れりとて種々の例を擧げ熱心に說明す柏原氏今回の大戰に鑑み我陸軍も改良を加へたるやに聞く經費の整理等に就き意の在る所を述べられ度しと迫る田中陸相經費節約は常に心得居れり大戰に鑑み我陸軍にも設備を加へたるは當然なり騎兵の不要論もあれど歐洲と地形を異にする我國は事情の異なれるあり之に就いては何等の計畫無しと答ふるや柏原氏更に政府は官私學校同樣の取扱を爲すこいふも私學高等師範部出身に試驗を課するは如何と難詰す

▲中橋文相 此問題に就ては政府委員より答辯せしむ可きか乃至調査の上答辯す可きやと諮りしが結局柏原氏の希望に依り明石政府委員逐一說明し右は未だ實行されたるに非ず教育會議の決議に依るものなりと答ふ次いで

▲片岡直温氏（政） 起立平和克復後產業發展に對する影響に就き政府の所見を求む之に對し

▲山本農相 物資の廉賣其他に就き相當方法を講じ居れりと答へ尚二三問答あり次に支那に於ける往年の鄭家屯事件賠償問題に就き片岡氏と首相外相との間に問答あり片岡氏尚ほも話を續け昨日（二十八日）望月小太郎氏の支那各種借款に對する外相の答辯は極めて不徹底なりとて詳細の說明を求むる之に對し藏相不得要領の答辯を爲すや片岡氏益々追窮すれば藏相交通銀行借款に就ては目下協議中なりと逃ぐ片岡氏更に國際聯盟に關聯し此際人種的差別の撤廢に就き政府の政策中の等備問題に就き政府に肉薄すれば外相望月氏の質問中人種的差別撤廢を如何にす可きやとの質問に對し大要の事も含み居れりと答ふ右終るや

▲床次内相 勞働者の向上に就ては幾多の設備あれど政府としては成る可く自然の發達に俟たんとす次で農相は勞働保險實施に就ては早晚實現す可く目下內務、遞信、農商務三省にて夫々調査中なりと答辯す片岡氏尚質問を進...

（二日間質問延長の申出でありしに就き之を各派に諮りたるに何れも贊成なれば延長す可しと告げ午後五時散會せり（東京特電））

◇牧野男 青島問題言明

米國聯合通信社員に對し

倫敦來電＝日本講和委員牧野男は青島處分問題に關し米國聯合通信社員と此會見中帝國議會に於ける內田外相の演說に言及し『日本が講和會議に於て青島の自由權を獲得したる場合は日本は之を支那に還附すべしとの內田外相の言に徵するも日本の態度に疑惑を挿むの餘地無し』と云ひ尚ほ同男は曰く『時勢は刻々變遷しつゝあり日支兩國が和衷協同するは刻下の急務なり』と（東京特電）

◇支那 少數委員不滿

在巴里支那人の曲辯

倫敦來電＝モーニングポスト巴里通信員の聞知する所に依れば支那は今次講和會議に於ける同國代表者の數が極めて少數に限定せられたる事に關し抗議を申し込まんこしつゝあり巴里在住の支那人は支那の參戰は講和會議參列の權を得るを第一の目的こ爲したるものにして最近南北妥協を來しつゝあるも要するに擧國一致以て講和會議に臨まんこするが爲に外ならずこ稱し米國の援助に依りて支那代表者の數を增加すべく運動しつゝあり而して彼等支那人は日本人を以て講和會議に於ける支那の敵なりこなし六週間前に日本政府の爲したる『日支兩國は今次の講和會議に於て兩國の利益に關しては共同動作を執るべし』との協定を爲したりこの聲明を否認し且つ曰く『吾等は領土問題其他に關し日支兩國間に於て解決に當るを好まず列國全體が日支兩國國民の要求に對して公正なる判決を下さんことを望む』云々こ（東京特電）

◇米移民禁止可決

米國下院移民委員會は講和條約提出後四ケ年間一般移民の入國禁止法案を可決せり（紐育特電）

◇米棉花運賃引上

紐育來電＝棉花輸賃金引上決定したるが元老院議員中には之を更に三仙方引上ぐべしと說く者あり（東京特電）

◇江蘇米輸出契約

支那政府は日本と四百五十萬石の江蘇米輸出を契約せりとの說あり（北京電報）

◇宇佐美長官通過 宇佐美內務部長官は三十日朝釜山上陸午前十時三十分發列車にて北行午後九時十分歸城すべし（釜山特電）

◎葡國復辟事情

事態頗る重大

葡國王政復古宣言事件に關しては報道の區々なると通信遲延の爲め迅速に正確なる事實を得ること困難なるが各方面よりの報道を綜合し更に取調ぶる所に依れば

▲大體の形勢 左の如し 諜者カピタン、パイバ、コウケイロは先年葡萄牙國の顚覆に際し最後迄革命黨に抗し遂に國外に逃れ其後今日迄二三回王政復古を企てたる人物なるが今回の擾亂は最近行はれたるデモクラット黨の革命事件に何等關係なく唯之を好機に事を擧けたるものこ解せらる右パイバ、コウケイロは初め一月十九日オポルト外北方の二市に於て王政復古を宣言し遂に同じく北方に於ける

▲他の二市に之を及ぼし、國內北部の主要なる部分を其勢力範圍となすに至り先づオポルト、リスボン間の交通々信を絕ち自ら廢王ドンマヌエルの攝政こ稱しオポルトに於て自己總理の下に王國政府を組織し法律改正の件を決定する等其行動を進めつゝあるものゝ如く而して意外に北部一般の民衆間に人望を有するものゝ傳へられオポルト市に於ける學生の如きは義勇兵を組織して熱心本件を謳歌し居ると云ふ而して右に對しリスボンに於ける葡國現政府は軍艦を急派してオポルトを封鎖すると同時に

▲陸兵を北方謀反地點に差向け已に夫々必要の行動を執らしめ居るのみならず政府は最近の革命事件に關する國事犯罪人を解放し其他百方本件の鎭壓に對し手段を盡さゞるなく且王黨を除きたる總ての政黨政派は此際一團となりて悉く政府に協力し居るのみならず陸海の軍人一般の民衆就中南部の民衆相携へて現政府を後援し居るを以てリスボンの秩序は何等亂るゝ處なく政府は落々として鎭壓手段の實行に熱擧しつゝありと云ふ只最近リスボン衞兵の向背に關して稍懷疑的報道ありしも固より容易に信ずべきにあらず之を要するに本件王政復古運動は當初一般に其鎭定容易なりと思惟せられたる如く見ゆる處其後の發展を見るに

▲軍隊の後援 は單にオポルト衞兵の協力に過ぎざるが如きも反徒全體の勢力一體に根強く事件は重大なりと認められたるも葡國現政府陸軍大臣の本件運動に加擔せるものゝ如く傳へられたるは全く虛報なる旨在マドリット葡國代理公使は言明せり（廿四日マドリッド發共同所報東京）

◎講和會議と東洋の將來（三）

國際聯盟の可能性及締結如何

貴族院議員侯爵 小村欣一氏談

以上の狀態より見て今回の講和會議の大勢が東洋の將來に及ぼす影響の如何に重大なるかは想像に餘りあることであつて吾人は聊か卑見を述べるに先立つて先づ此の注意すべき

▲三點を提起 した次第である。講和會議の東洋に及ぼす影響の最も大なるものは他面より見れば同會議が世界の國家組織經濟組織に及ぼす最も大なる影響と一致する第一に世界の國家組織經濟組織を根柢より變更すべきものは云ふまでもなく國際聯盟の成立及び其の運用如何にある。國際聯盟の實行案に就ては各國の意見未だ歸一を見ないが少くとも次の點に於ては大體一致してゐる樣に見受くる。即ち將來國際間の爭議を惹起せる場合戰爭の方法に據らず平和の手段即ち裁判若しくは裁決によりて之れを決定する。若し國際聯盟の申合せに背き戰爭によりて

▲爭議を處決 せんとする國家ある場合には之れに對して經濟的並に政治的更に進んでは武力制裁を加ふること。又國際聯盟より脫退し若くは之に加入することを肯んぜざる國家に對しても大體如上と同樣の強制的方法をとることこれである。最近發表されしと稱する獨逸の講和意見によるも獨逸亦國際聯盟に贊成の意志を表して居る。獨逸の向背は全然度外視するも各國の意氣込み前述の如くである以上形式は兎に角

▲趣意に於て は國際聯盟は必ず成立すべき機會に到達して居ると信ぜられる此の點に於て最も興味あるは最近米國の有力者間に於ける聯盟論特に故ルーズベルト氏の意見であつて即ち紐育ポスト紙の傳ふる所によれば聯盟の實權は歐洲に於ては數大國、米大陸に於ては合衆國、而して亞細亞に於ては主として日本に其責任と權力とを有せしむべしとの說である。講和會議の結果如何に落著すべきかは豫知し難い所であるが人種の相違、國力の懸隔を補ふ種々なる處より考慮して結局國際聯盟は此の邊に落付くのではあるまいか。然らば東洋に於ける日本は極めて重大なる

▲責任と義務 とを負擔する地位に立たねばならぬ。若し日本の朝野の思想が世界の大勢を解せず殊に日本政府の誠意が內外の疑惑を招く餘地があり就中隣邦支那又は西伯利等に對して我思ふ所爲す所が、萬一內外の不信を來すが如きことあらば果して日本は斯の如き重大なる責任と義務とを分擔し完全に其職責を遂行し得べきや否やに就き世界の疑念を惹起するに相違ない。故に吾人は先づ以て此の點に對し我が朝野の公正なる國家的責任心の自覺を促さゞるを得ない（東一安局）

◎東拓の延白千潟地開墾計畫

延白平野二萬町步の水利事業と並行せしむべき目算＝關屋土木課長談

東洋拓殖會社京城支店にては最近黃海道延白郡の干潟地約一千五百町步の

▲開墾許可 を總督府に出願したるが該干潟地の開墾は有名なる延白平野の天畓二萬町步の大水利事業と離るべからざる關係にあり右に付關屋土木課長は曰く東拓にては過日黃海道延白郡の干潟地一千五百町步の開墾を出願したり然し乍ら右の開墾は延白平野水利施設の完成を俟たざればその好果を期待し難し唯延白平野二萬町步の天畓に水利の便を附すべき事は刻下の急務として同平野を知るもの、異口同音に唱へつゝある所なりまた事實同平野の如く纏れる土地の

▲水利事業 は目下不二興業の藤井氏等が計畫しつゝある全北東津江水利並に將來水利の出現すべき平安北道小野の早田と相俟ちて朝鮮の未設水利事業中の最大なるものたり東拓にては該平野に於て千町步の土地を有し居れるに付水利の施設を行ふべき計畫を進むる事は昨年川上理事の談として京日紙上にも發表されし如く相當盡力をなすべきが同時に平野に聯接せる干潟地の利用開墾も等閑に附すべからずと做ぜらるゝに付その開墾の出願をなしたる譯なり旁その許可を得れば工事にも成るべく速に取り掛りて

▲相當の施設 を加へ以て延白平野天畓水利の發達と相並行せしめたき希望なり

◎郵便貯金稍減

一月末の朝鮮郵便貯金は一千四百萬圓臺を上下し中旬の一千四百二十萬圓に比し若干の減少を示したるが右は目下賣出中の勸業債券に對する乘り替あるためにて近く恢復し來るべしとの事なり

◎朝鮮在籍船舶

遞信局調査に係る最近朝鮮の在籍船舶數は汽船七十九隻三萬四千八百七十九噸帆船三百四十一隻一萬一千八百六十一噸にして汽船中六百噸以上のものを擧れば左の如し

六百噸以上七百噸未滿	一	六三九噸
七百噸以上八百噸未滿	五	三、三三〇
九百噸以上千噸未滿	一	九四[illegible]
千噸以上二千噸未滿	五	七、二〇六
二千噸以上三千噸未滿	二	[illegible]

商帆船中三百噸以上四隻一千三百四十二噸又帆船中三百石以上のもの一隻三百八十八石となり居れり

◎咸永間鐵道工事

咸南永興咸興間の鐵道は本年末を以て開通すべき見込なるが其後の方約一哩龍興江までは既に竣成し同江の架橋も完成したるが結氷期に入りてより工事は殆んど休止の姿にて唯土工事及び咸永間に介在する城川江、鎭江其他大小河川に架すべき橋梁の杭打に過ぎず從つて人夫の數も激減し居れるが四五月頃に至らば軌道の敷設に着手し得るに至るべく唯氣遣はるべきは雨期の長短にあり幸ひにして雨期比較的短くば豫定期間なる本年中には竣工するに至るべしこ

◎朝郵拂込奈何

立神丸の船價

朝鮮郵船會社にては最近日本郵船會社より立神丸（三千噸）を購入する事に決し來る四月初旬受け渡しを了する見込みなるが該船價は噸當り三百圓見當との事に付船價九十萬圓を要する譯なり從つて現在の朝鮮郵船の積立金七十餘萬圓にては其の全部の決濟不可能なるべく旁朝郵にては不足額の借入れをなすか若くは未拂込み金の徵收を行ふか二途その一を選ばざる可らざる立場にありとも稱せられ居れる前期總會に於て松崎專務が株主に告知せる如く第三回の拂込みを徵するに非ずやとの說あるが會社當局の談によれば立神丸船價の決濟方法は未だ最後の協調をなすに至らざるも一時に船價の全部を拂出さず適當の方法にて決濟する事となり居れるに付差向き立神丸購入決定したりとて拂込みを急がざる可からざる事情は無し唯會社も各種の擴張計畫を考案中に付その具體化につれ資本を要する事は少からず旁拂込みの徵收を要すべきも差し迫り問題ならずと語れるに見れば多分立神丸の船價は親子的關係ある日郵への仕拂ひに付...

◎朝鮮新入籍船

釜山橋本合名會社に於て大正七年十月新造せし銅山丸（一千六百八十五噸）は最近釜山在籍として朝鮮に入籍したり

◎鮮銀總會期

朝鮮銀行の七年下半期決算並に銓金分配案を附議すべき株主總會は二月二十日東京にて開會する事に略內定せしが美濃部總裁は十日頃までに總會出席のため東上すべく又東上中の嘉納副總裁並に片山理事は總裁東上迄に相前後して歸城すべしと

◎仁川期米爆發

三十七圓高突破

一路昂騰を續けつゝある仁川期米は一場毎に二三十丁の爆騰を重ね居れるが三十日前場は三十六圓九十五錢に寄附きしも買氣の旺盛に直ちに三十七圓の關門を突破して十錢と新値を現はし十八錢と强硬に打止めたり尚ほ之れを大阪相場より見れば不割なれど正米の値頃より見れば必ずしも高しと云ふべからずこは硬派の買材料なれど元來正米の相場は內地に比し高張り居れば越月後は當然その咎めを現はすべきかと

◎凱旋將卒著釜

廿九日午後三時五分西伯利出征軍中の第四師團第一建築輸卒隊及び第三師團大行李其他二三部隊合計五百六十四名は草梁車用停車場に著したるが例の如く釜山官民有志の出迎へあり順次各宿舍に分宿せり（釜山）

◎大正鑛業許可

豫て假名松太郎外七名より申請中なりし大正鑛業株式會社新設の件は一月二十七日附を以て許可の指令ありたるが同社（資本金五十萬圓）は本店を京城に置き鑛業土石採取事業鐵石及び鑛業用諸材料其の他の製務を營むを目的こすこ

◎訂正

國葬儀次長伊藤博邦公一行は一日朝下關出帆二日午前九時二十五分南大門驛著入城の豫定にて昨夕刊『一日朝入城』は『二日朝』の誤植なり

人

▲新庄朝貞氏（總督府通譯官） 御駒治療の爲め六十日間の豫定を以て夫人同伴三十日朝南大門發東上

▲伊藤四次氏（總督府技師） 二十九日附四日間の豫定を以て京畿道抱川郡へ出張を命ぜらる

▲川崎繁太郎氏（同上） 二十九日附二十五日間の豫定を以て東京大阪京都福岡の各地へ出張を命ぜらる

▲三井榮長氏（同上） 廿九日附五日間の豫定を以て忠南管內へ出張を命ぜらる

▲井上正雄氏（鮮銀理事） 營業課長より下の關支店長たる事に內定し二月一日午前八時四十分南大門驛發列車にて出發赴任すへし

▲稻本貞雄氏（滿鮮信託會社長） 三十日朝入京龍尾へ

▲牧野昇氏（大倉組鎭南浦埋立事務長） 同上

▲富川正三郎氏（平壤電氣社長） 同上

▲荒谷作造氏（東京醫藥家） 同上

▲田中紫逸氏（同上） 同上

八面鋒

◆各國占領植民地問題に就いては必ず一こ議論あるべしこ思ひしに果然英國はパレスタイン、メソポタミヤ等の處分は國際聯盟會に投げ出さんこし、阿弗利加植民地には、中立をなさしめんこし、問題に殘れるは太平洋上の諸島に止るが如し。太平洋上の獨逸植民地にして聯合側の占領せるは、英國のサモワ群島こ、日本のマーシャル、カロリン兩群島也。

◆日本の膠州灣占領は、支那に還附すべき條件附のもの也。日本が赤道以北の諸島占領は、既により各國の承認する處たり、講和會議に於て、各國は何の異論もなき筈也。假へ濠洲のヒュース君が、一人不贊成を唱へたればこて、列國は必ず日本に贊成せざるべからざるに、其の色の見わざるは聊か不快を感ぜざるを得ず。

◆若し夫れ本問題にして、不幸にしてヒュース君の主張勝利を得ば日本は何が爲に多額の費用こ、多大の犧牲を拂つて、太平洋上に活動をなせしや、其の意味を解するに困まざるを得ず。單に他人のお手傳ひに過ぎざりしこ云ふが如き言は、何人か之れを徒らに聞かんこするものぞ。五大國の一に加はるの光榮を有したりこて、敢て嬉しきに非ず、其は當然たる位置なれば也。

◆國際聯盟こは煎じ詰むれば强國の威張る事也。勝手に振る舞ふ事也、弱國の壓迫せらるゝ事也こ曾て某外字新聞は喝破なり。講和會議に於いて、弱小國が代表者割當に對して不平を唱ふるや、クレマンソー君の一喝は、先づ國際聯盟を實行して見せたる者か。

◆今回の講和會議が、維也納會議に似たりこは、曾て吾人の豫言せし處也。然り、曰く五大强國に對する小國の不平、曰くクレマンソー君の一喝等舞臺は愈酷似し來れり、此の機に乘ずべきタレーランのあるや否や。進莫百年前の會議こ、百年後の會議が同じ事にては、世界も進みしが如くにして、進まぬもの也。

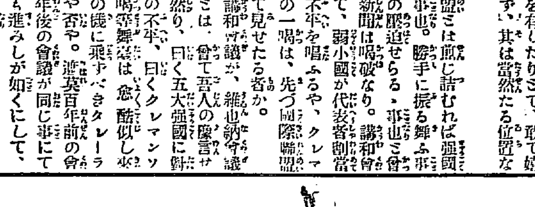
朝鮮法制研究會
再版
縮刷 朝鮮法規提要
▲ポケット形 千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價二圓二十錢 送料 ▲特價一圓 八錢

（內容）
憲法、法例―憲法―法例―公式令
官規―官制―官吏―任用試驗―服務分限―諸給旅費―執務時間―休暇―服式、恩給
賞恤、恩給―褒賞―救恤―恩給―官吏恩給―年金恩給支給―退官賜金
文書印刷―印鑑
地方行政―公共團體―面―府―學校組合―水利組合―地方費―臨時恩賜金―公立普通學校費用令
社寺、宗教―祭祀―神社―寺院―布敎―寺刹
兵事―徵兵―六週間現役―服役―徵兵入營旅費
教育―朝鮮敎育令
衞生、警察―衞生―醫師―藥品―傳染病―種痘―防疫―警察―警察犯―保安―遺失物―飲食物―銃砲火藥―宿泊居住―墓地
財務―國稅徵收―租稅―犯則處分―專賣―會計―保管―供託
土地、林野、河川―土地―收用―調査―國有未墾地―林野―河川―水面―海面
法務―裁判所―辯護士―訴訟代理業者―公證人―民事令―刑事令―銀行―會社―對物取引―米豆檢查―商業
產業―商業會議所―鑛業―漁業―狩獵―組合
交通、電氣―郵便電信―鐵道及軌道―鐵道―道路―開港―航行―電氣事業取締

賣捌所 京城太平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 構內十八番 振替京城三〇〇番

英國皇室御用 帝國遞信省御用
RUDGE-WHITWORTH LIMITED
ラーヂ自轉車
絕世の信用と名聲を有する自轉車は
安心して乘れる精良無比の自轉車は
◇有名なる自轉車店に販賣す◇京城南大門通三 日米商店京城支店

出張所設置披露仕候
弊所今般各位の御引立に依り京城に出張所設置仕候間何卒此上とも御愛顧の程奉願候
西洋家具 式黑板 鐵棒 飛越箱 跳躍機械各種 宮內省御用品 椅子卓子各種 手助 木棒 公立普通小學校用机 中等學校用机 注油式廻旋塔
優良運動用具校具販賣
學校机黑板製造元
京城永樂町二丁目（本町下ル左側） 松村工作所京城出張所
龍山 京城府漢江通十三番地 松村工作所本店
龍山公立小學校前 松村家具製造工場



ハロン號自働車
◇經濟的 ◇體裁優美 ◇器械堅牢 ◇燃料少量 ◇實用的
輸入元大連 西川光太郎商店
朝鮮代理店京城永樂町二 榮洋行 電話長一一四七番

◎嚴肅なる起工式
今日、金谷里御墓所及び洪陵に於て擧行

李太王殿下の御墓所たるべき金谷里の封陵及び同封陵に移葬せらるべき清涼里所在閔妃の洪陵は葬儀數日前迄に工事全部を完了すべき豫定なるを以て李王職工作係にては三十日午後四時より

▼兩墓所に 於て起工式を行ひたり。同日金谷封陵には典祀一名工作係職員其他多數出張し典祀より封陵に供物を獻じて山神祭を執行し次いで工作係職員が清淨なる鍬を以て

▼斬草破土 の役を起行ひ以て、式を閉ぢ了りたるが清涼里洪陵に於ても典祀及び工作係職員出張して洪陵の式及び破土式を行ひて起工式を閉ぢたるが愈々兩墓所の

▼工事著手 は兩三日中なるべく右と同時に京城より金谷に至る葬列通路破損の箇所等も修理に着手すべしと

▼埋柩式は短時間
多數宿泊の設備なし

埋柩式當夜靈柩を奉送して金谷里の御墓所に到る人々は二三千名を下らざるべき模樣なるが斯の多數の人々が埋柩の一夜を金谷に明かさせば宿舍の準備も元より必要なるが右に就き

▼某當局者 の語る所に依れば埋柩の當夜奉送の人々が果して金谷に夜を徹するや否や、夜を徹するとせば幾人位なるかが判明せざる限り宿舍の準備に着手する能はず。隨つて今日までのところ之に對して何等の方法も考究し居らず

▼幄舍を設 けて宿舍に充つる等の計畫も無し。唯現在御墓所内に假殿其他の建物に修理を加ふる計畫にて李王殿下其他各殿下の御宿舍としては齋室の設けあれば何等の不足を感ぜず、且つ從來の埋柩式に徴すれば極めて

▼短時間に て式を終ふること多く、豫定時間の十時より始式を行はるとせば式後更に及ぶが如きことはなかるべく從つて徹宵封陵内に篝火を焚くが如きは未定のことなり

▼國葬の御通路
春川街道の地均と橋梁の架替
‖御通路を檢して鐵道部務長語る‖

李太王殿下國葬儀御通路中檢分を終へて歸任せる鐵道部鐵道課長は語る『國葬の御通路たる東大門外より金谷の封陵に至る道路は六間半より八間當にて

◇國葬通路 には十分であるが唯だ其間五箇所の橋梁が小さい爲め直ちに架替へに着手する事とした又春川街道より封陵に至る約卅間は道路改修の要はないが凹凸が激しいので之亦直ちに地均に着手する事とした尚此外警察の御用務としては御通路に對し如何に警官を配置して御一行御中止るかに就て點め見て置いた位で未だ

◇警官配置 に就ては具體的案を立て居ない隨つて警官數も判然しないが何れにしても市内の警官では不足なので管内警官召集は無論警務總監部に於いても各地の應援警官を多數召集する筈で目下夫々準備中である』

▼氣に懸る 國葬當日の天候
過去十一年間の記錄を見ると 殆んど晴天の日ばかり

李太王殿下の御葬儀三月三、四日に内定し五日の返虞式を加へて前後三日間に亙つて執行せらる、豫定であるが斯の朝鮮未曾有の盛大な國葬儀當日の天氣如何は何人も一樣に懸念に堪へない。而して葬儀當日如何な天氣に廻り合せるかは元より豫斷するに困難であるが京城

◇測候所に 就て過去十一年間に於ける三月三四日頃の天候を聞けば斯うである。即ち三月上旬頃の京城は午前六時頃の一番寒冷を感ゆる時刻でさへ冷水が凍るか凍らないか位の程度であつて、平均氣溫は攝氏四十度内外である隨つて酷寒に拘はると云ふやうなことは滅多になく

◇假令降雪 があつてもさほど寒冷を感じない。唯其時分は氣候の變遷期に當るから風が多いそれに雜閙が手傳つて盛んに埃が立ちはしまいかと思はれる位だ幾分懸念されるのは雨は四十一年の

三月四日に一度降つたきりで其後の同月同日及び同月三日には

◇一度も降 らない。雪は大正五年の三月三、四日と六年の三月四日に降つて居るが其他は殆ど晴天ばかりである。即ち過去十一年間に於る三月三、四兩日の天候は左表の通りであるが之に依つて今度の御葬儀當日の天氣を推測すれば

◇勿論晴天 であらうと思はれる

	三月三日	三月四日
明治四十一年	曇	雨
同四十二年	快晴	晴
同四十三年	晴	晴
同四十四年	快晴	晴
同四十五年	曇	晴
大正二年	快晴	晴
同三年	晴	快晴
同四年	晴	小霧
同五年	曇	晴黄砂
同六年	小雨雪	小雪
同七年	快晴	晴

◇二十錢の下駄を履いて 龍山中をグル〳〵廻る
質素な宇都宮司令官
部下將校が百姓と間違へて恐縮する

朝鮮軍司令官宇都宮中將は昨年九月着任以來、朝七時頃起床すると直ちに素裸となり冷水浴を約三十分位やつた上食事を濟ませ愛馬にヒラリと飛び乗るが早いか『ふい』と一時間も飛び廻る、それが濟むと縱尻に異れて龍山附近をグル〳〵と始めて出勤するのであるが歸邸は毎時も午後三時を過ぎる、歸邸後は直ぐ木綿の着物に

△絆の羽織 を引つ掛け一足二十錢もせぬ重い書生下駄をカラコロと引き摺つて市中を目的もなくグル〳〵廻るその姿が合變突出しの百姓そつくりと來て居るので兵士は無論何うかすると將校達が間違へて全くの百姓位に思ひ行き過ぎようとしてふと氣が付き『ハツ是れは閣下……』と慌てゝ立不動

△擧手の禮 をすると云ふ滑稽を演ずる事がよくある閣下其癖事には平氣の平左でニコ〳〵しながら『やあ今日は』と云つた樣な挨拶をしてスタコラと行つて終ふので間違へた者は非常に恐縮して終ふさうである。つい二三日前の事閣下は例の如く百姓姿で漢江見物に出掛け

△ニコ〳〵 しながら岸に立ち鮮童が氷滑りを眺めて居ると其處へ何處から一人の内地人の子供がやつて來て其鮮童を突き飛ばして氷滑りを始めた是を見て居た百姓姿の閣下は『是れやお怪しからん』とニコ〳〵下りて行つて其子供に向ひ『お坊ちやんお前は内地人だから鮮人の弟の樣に思つて可愛がつてやらなければいかん』と云ふと

△件の子供 は『叔父さん何處の人、百姓?』と云つたので閣下も思はず吹き出したとの事である閣下は過般南鮮地方を巡視したが其際地方官吏が『閣下何うぞ』と云ふと『僕は無能無害だから』で押し通した相な閣下であるから其事を新聞に書いて見れと云つて居る

▼國葬事務所
多分土地調査局跡か

李太王殿下國葬儀掛長は既に發表せられ内地よりの掛員も近く來鮮すべきに就き國葬の事務所を設置せざる可からざるが總督府内は狹隘なるを以て成る可く總督府附近に設くるを至便とし目下選擇中なるが多分土地調査局跡を以て之に充當すべく當局は總督府より讓渡し臨時任命を見る可し

▼恩赦は無い

李太王國葬儀當日を期し朝鮮内に犯罪者若くは赦免の恩命あるやに噂する者あれども今回は斯くの如き儀絶對に無き由なり

◎鮮人學校敬弔 平壤

鮮人私立學校及び各基督教學校生徒等は李太王殿下薨去の悲報と同時に一定の喪章を附し敬弔の意を表し居れり（平壤）

◎金剛艦
‖吳に向ふ‖ 國葬に派遣か

軍艦金剛は横須賀より吳に向け發航したりこの事は當局者は毫も知らずと答へ居れり同艦は東宮殿下の御渡歐仰せ出だされし場合御乘艦の榮を負ふ筈故吳に回航し同工廠にて御座所其他を設備するものにあらざるか又一説には朝鮮李太王殿下國葬の當日派遣するにあらずやとの噂あり何れにせよ朝鮮には我艦隊の一部數隻の派遣あるべしと（吳發電）

◎六國史
‖の校訂始まる‖ 宮内省の大事業
準備委員長は鷗外博士

二十七日正午宮内省にては今回新に『六國史』の校訂準備委員長に圖書頭文學博士森林太郎氏を、同委員に同寮主事五味均平氏及び和田英松氏を任命の事を發表したり『六國史』は日本書紀以下我大日本國體史の權威たる典籍なるも其の中、異本、異說頗る多く前年故井上頼圀翁が心血を濺いで一度び之れに從事し其の完成を期せしも、中途にして斃れ其儘となり居たるを、今回宮内省の一大新事業として之れが完成を計る事となり先づ其の準備委員を置きしものにて何れは廣く民間各方面の適任者を網羅して其の完成機關を設けらる、に至るべしと

◎文展へ版畫
‖日本固有の藝術問題‖ 文部當局へ建議

過般國民美術協會から岡田三郎助、津田信夫の兩氏が文部當局を訪問して工藝美術をも文展へ加へるやうにとの建議をなしその事情を陳情した事は既報の通りであるが今回旗揚げをした石崎武男、織田一麿、山本鼎、戶張孤雁の四氏の版畫創作協會では第一回の展覽會が豫期以上に成功し多少販路に對する世人の注意を喚起したので此際更に其藝術的價値を高むるため近く其の事情を具して文部當局を訪問し文展に版畫をも加ふべく運動に着手する筈であると

◎浦鹽
‖又復不穩‖ 氷上盜賊横行
市長狙撃さる

二十七日浦鹽より入港のシンビルスク號船客が齎せる情報に據れば浦鹽に於ける過激派の形勢不穩なるより聯合軍は大いに警戒を加へつゝあり二十五日同船が浦鹽出帆に際しハバロフスク勞兵會長たりしクラスノシチヨコフの弟が乘船せんとしたるを拘引せり

◇浦鹽埠頭 に荷揚場なき爲め荷物は沖に於て團平船に移し置しあることは既報の如くなるが其百數隻の艀は結氷に封鎖されしため保管上反つて好都合なるが併し夜中盜難に罹るもの頗る多き有樣なり

◇浦鹽市長 アガーレフ氏は去る十八日午後十一時過ぎ自治會よりの歸途ネウエルスカヤ街角に於て二名の兇漢に短銃を以て十數發亂射されしも幸ひに命は免れたり（敦賀電報）

◎一村全滅
二百七十六名 惡感冒の爲に

‖福島縣下の悲慘事‖ 最近會津方面を旅行して歸つた人の談に依ると福島縣若松市を距る四五里山中に人口二百七十六を有する一部落では村民悉く流行性感冒に罹り苦悶一方ならざる折柄降り續く大雪の爲め交通を絶たれたので醫師の治療を請ふことも能はず次第に食糧缺乏し遂に二百七十六名の同部落民全部病苦と饑餓との爲全滅したりと（東京）

◎成瀨校長病む
‖胃病か‖

女子大學校長成瀨仁藏氏（六一）は去十五日以來胃及び肝臟を病み學校を缺勤し目下自宅に於て靜養中なるが廿七日女子大學にては『攝取物は成るべく消化の好い物をとの、二木博士の御注意でした病名はまだ判然致しません、御熱も無く一見平素と變らぬ容體です兩三日後には病氣其他の詳しいお話が出來ると存じます』と傳へらる（東京）

引退興行をした（井筒の）西の海
＝二十六日九段の興行事務所前で＝

◎羊一頭と針一本
日本品大歡迎の此際に發展せよ
◎有望な蒙古に於ける緬羊事業

滿蒙に於て緬羊事業をなせる筑紫昌門氏は二十七日南下上京せるが其談に滿蒙から毎年天津に集まる羊毛は三千萬斤乃至三千五百萬斤にしてその産地の重なるものは東蒙古、青海蒙古、河南、陝西等で東蒙古からは六百萬斤も出してゐる、この東蒙古は日本の特殊圏内であるが各種事業未だ振はず原料を集める方のことが度外視されしるのは遺憾である、羊毛に就ても自身羊を飼ひその毛を以て製作するといふ程度に至らず、支那人なども買ひ求めて之れを加工するといふ具合で、過般資本金一千萬圓を以て創設された滿蒙毛織會社の如きも原料を直接に求めることをせず買ひ集めのみ汲々してゐるが之では緬羊業を開發することは困難といふべく、同時に普良なる羊毛を得られぬことになる

▽戰前獨逸 露西亞などは滿蒙の羊を得るため盛んに物資を持ち込み主として雜貨類を以て羊毛と交換してゐたが此物品交換を盛んならしむるためにはハイラルなどに大寺院を作り參詣者の多く集る時を見て雜貨類を山の如くに積み上げ之れを以て交換したりとのことである、然し戰爭勃發と共に彼等が蒙古から立退いてからは日本品が代つて土人に歡迎せらるやうになり日本品と云つたら一本の針でも珍重し

▽一針で羊 一頭と交換した商人もある、蓄音機でも持つて行けば羊二十頭と交換が出來るといつたやうに蒙古附近に於ては日本品が非常に歡迎されてゐるのでこの際雜貨を持ち込み羊其他のものと交換するには今が一番いゝ時機である。雜貨と言つても土人の喜ぶ器などは上等なもので土人の喜ぶのは食器、齒磨、石鹸等であるからさして資金も要せず羊を得ることが出來る、東蒙古に於ける現在の羊數は二百萬頭乃至二百五十萬頭で少し獎勵すれば之を三百萬頭とすることは困難でない

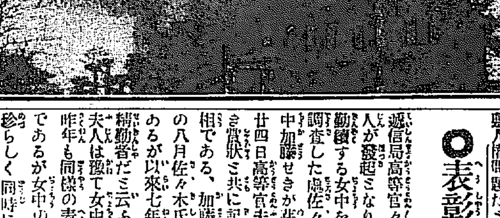
▽一羊から 得る毛は年三斤であるがその種を改良しトクノウ種と混ずれば第二世雜種となりこれは年九斤乃至十斤の毛が得らるよつて種を改良して行けば今日の産量を三倍とすることが出來る蒙古の羊毛は粗惡で毛布以外には駄目といふ說もあつたが之は十分な加工方法を知らぬので加工さへよければ服地としても優等なるものが作られるので悲觀する要なきのみか將來大に有望なるものとして十分樂觀し得らる、ものなり

◎解氷と……新工事
殖銀では昇降機附の大行舍增築

朝鮮殖産銀行では業務擴張發展に伴なひ現在の行舍には狹隘を感ずるに至つたので今回增築の計畫を建て目下中村技師の手によつて設計中であるが增築は現在の行舍二百坪（煉瓦二階建）を更に兩翼に三百五十坪を建て增し總坪數五百五十坪の間口卅間奥行廿五間に十四間曲形の煉瓦總二階建の

◇大建築物 とする計畫にて地下室をも造る豫定である又階上の昇降には電氣昇降機を取付ける事となつて居る尚ほ此外行舍裏に倉庫をも新築の筈で經費は目下の處確定して居ないが莫大なものである此建築は解氷と同時に工事に着手の豫定であると賀同行理事は語つて居る又朝鮮銀行にても行舍の狹隘を感じて居るので此際增築の計畫を建て

◇目下設計 中であるが增築の場所は同行の右側にて約百坪の煉瓦三階建を增築する由であるが尚ほ聞く處に據れば現在の京城府の廳舍は前に鮮銀殖に京城局の大建築物を控へ殊に京城の玄關口に於て頗る貧弱の感があるに加へて廳舍狹隘を感じつゝある折柄の事でもあれば改築の必要說有力者間に出で臆の設計をなして總督府に出願しようと話が纏つて居ると



◇伊國大使館火事（東京支局撮影）

◎工女に檢黴
的診斷 長野縣の問題

◇百人中の廿七人が花柳病 新潟縣下は縣外に稼ぎに出る女に對し其の何種類たるを問はず檢黴をしまた稼ぎから歸つて來る女に對しても同樣の方法を取つてゐるが長野でも昨今

△花柳病 が猛烈な勢ひで傳播する所から其の豫防方法を考へた末、近く縣令を發布して同縣下七萬の工女に對し檢黴的健康診斷を實行するといふ說がある、同縣下の工女のうち病氣で休業屆を出すものが百人もあるとすれば其中二十七人までは花柳病であるといふ事が縣當局をして檢黴的健康診斷を行はせることゝしたので、方法は工女五十人以上を使用してゐる工場に醫を置かせて常に工女の衞生に注意せしめ外年に一回花柳病殊に梅毒の

△有無に 就て調べさせるといふ、處で長野縣下の各製絲工場は固より同縣下に一萬數千の工女を送つて居る山梨縣も目下この問題に對して反對の態度を取つて由々敷人權問題だと稱して騷いで居る

◎文藝座の狂言
神戶を振出

文藝座の旗揚げに市村座を捨てた勘彌は舊來田舍巡りの役者に引籠つて一座の顏觸れを取り立てに頭を痛めて居たが漸く介十郎小七門之丞女形には愛之助成駒で組織する事に取極め自らは振出し神戶聚樂館の初旬から蓋明けで第一『我が生ひ』第二『一休』第三『首侍』第四『忠臣藏』を振り二の替りは第一『伊賀越』『天下茶屋』第二『生遊』第三『十六夜清心』の四『御所五郎藏』と七日初日と確定した

◎釜山の火事

二十九日午後七時朝鮮瓦斯電氣會社釜山鎭倉庫より出火倉庫一棟燒失し七時半鎭火したるが同倉庫は材料の假倉庫として常に火の氣なき處なるを以て發火の原因不明にて目下取調べ中尚損害額未詳也（釜山）

◎寶生流素謠會

京城寶生會は來二日午後一時より倭城臺俱樂部に於て素謠會を催すべく番組左の如し
海人（無所屬中）▲盛久（田中組）▲清經（中組）▲鶴龜（岩田組）

一月場所の總勘定もすんで各に給金直しのあつたのは既報の通りだが▲次でに各力士の總給金を紹介すると、これまで最高給であつたのは太刀山が引退の時に百七十三圓五十錢で▲同人引退の後は鳳の百圓二十五錢が最高で西の海は九十六圓五十錢栃木山は九十一圓七十五錢▲大錦は九十圓大關の最低である朝潮はグット下つて六十九圓五十錢伊勢の濱は六十五圓五十錢九州山は五十圓二十五錢千葉ヶ崎は四十七圓で大關の最低▲大潮などはまだヤツと二十四圓二十錢に過ぎぬそれから行司は立行司の庄之助が三十五圓でそれから伊之助朝之助與太夫勘太夫錦太夫の五十錢宛下つてゐる▲大關と橫綱は昇進の時に十圓宛特別昇給するのだと

◎表彰された女中
七年間勤續して

遞信局高等官々舍では持地長官夫人が發起となり官舍中で最も長く勤續する女中を表彰する事として調査した處佐々木經理課長宅の女中加藤せきが拔出たく其選に入れ廿四日高等官夫人一同から左の如き賞狀と共に記念品を授與された相である、加藤せき女は大正元年の八月佐々木氏方に雇はれたのであるが以來七年一日の如く働いた精勤者だと云ふ事である、尚持地夫人は豫て女中の薫陶に意を用ゐ昨年も同樣の表彰をしたと云ふ事であるが女中の表彰は一風變つて珍らしく同時に美しい譯と云はねばならぬ

表彰狀　加藤セキ殿

大正元年八月以來佐々木三雄氏方奉公中精勵克く其の責務を盡されたるは一般使用人の模範たるべきものにつき之を表彰する爲め物品を贈り之を表彰す

◎景氣が良いのに 空き家が多い

…る家が非常に多い尤も之等貸家となつて居る家は總てが小屋ではあらが何故現時の平壤に於て斯く空き家が多いかといふに新築家屋の竣成を告げたのと一は結氷期間中であるから比較的人口の増加率も減じ居るものにて事實上は尚家屋撤底を叫ばなければならぬ若し解氷と同時に來る連中が尠くない等に起因するも…足を皆ぐるのは今から斷言して憚らぬところである

◎連絡船上の客 二十…

中村ます、同英、米田青、片子…

天氣豫報　京城地方　三十一日（金）
曇後晴
▼京城今朝氣溫…
日出七時三十七分　日沒五時五十五分

凍らぬ!!消火器はこれ

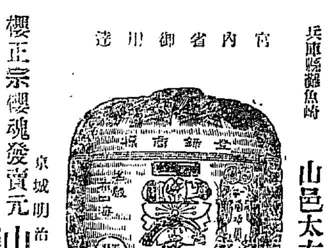
定價金貳圓五拾錢　送料實費
京城　熊平支店
電話長六二四番三二一五番
振替口座京城二一二番

醫化學諸器械一式
（K）
仁川本町　北島藥店　電話一三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番
藥種賣藥卸商

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　朝鮮銀行
電話六〇一〇番　振替貯金口座京城三三三番
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、龍山、會寧、安東縣、奉天、濟南、大連、青島、長春、開原、遼陽、吉林、哈爾濱
出張所　營口、傅家甸、龍井村、四平街、鄭家屯、上海、天津、漢口
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院
電話一二七二・三九九番

宮内省御用達
兵庫縣灘魚崎　山邑太左衛門釀造
サクラ正宗



櫻正宗櫻魂發賣元
京城明治町二丁目　山邑京城支店
電話長八四九番一四五四番
振替貯金口座京城七五番

李太王殿下御納品
品質撰擇
本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルモノニテ金褐色（紅蔘ト同色）ニシテ粘著力强ク佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味强ク鐵臭焦臭ヲ有スル粗惡品ト同視スベカラズ。

强壯、補血、興奮、鎭痛、發汗、健胃、利尿、緩和、收斂等ノ藥治的効力ヲ有スルヲ以テ○神經衰弱○精力減退○老衰○冷症○レウマチス○貧血○婦人病○肺病○心臟病○ヒステリー○腦病○胃腸病○慢性病等ニ應用セラル
十瓦入一圓五十錢　二十瓦入二圓八十錢　五十瓦入五圓四十錢
特約大販賣店
京城太平通一丁目
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

……悲觀すべき現象では無い
昨今平壤の景氣は素晴らしい勢ひで人口の增加も又著しい統計を示して居るが扨て平壤の街を歩いて見ると近頃貸家札の貼られてあ
るが何れのであらうが之れ等でならないが決して此現象は悲觀すべきことではない實に此昨年の秋頃までは一戶の貸家をも見なかつたが結氷と同時に秋頃より建設して
……の節約よりして官公吏其他會社員間には二家族合同同居を爲すもの或は結氷期間中妻を內地へ歸らしめて自分は友人の宅に同居する
……は前年に比しては一層の人口增加率を示すであらうから目下の貸家三十軒や四十軒の空くのは問題のお茶漬より易々たることで尚不……

◇太刀山斷髮式 廿六日午後本所小泉町の自宅にて執行さる寫眞の鋏を執るは西鄕侯（東京支局撮影）

奉天より

老禿生

◇滿奉天長春間の電話線は從來二線であつたのが愈々三線となるには尚早や多くの日子を要しない事となつた、愈々是れが使用さるゝになれば一般の蒙る利益、若しく莫大なものであらう、大連奉天間は例の鈔鈔・使用する者が第一番で其他の商用者は二の次であつた、で鈔客の使用の爲めに日中は殆んど他に使用の餘地がなく一般商業者は夜中九時十時に漸く使用する有樣で謂はゞ大連奉天間は鈔鈔業者專用と云ても評言でない、其の大連奉天間よりも長春奉天には一層使用度數が頻繁じあつたと云ふから略推察が出來る事であらうと思ふ、其れに就けても思ひ出すのは奉天安東間引いて京城間是れが完成して來たならば其の利便は思ひの外に出るものとなるであらう

◇曾て東拓理事の川上氏は滿鮮の融合融和を說き進んで滿洲勢力の南進は不條理であらうか宜しく朝鮮の方進を策せねばならぬと言うて居られた、是れは只に川上理事個人の意見ではなく日本全體の意見であらねばならぬ、此の意見此の理想に向つて進んで來るとすれば鮮滿間の交涉關係は從來とは面目を一新して來た且滿蒙の經營は更に一段の生彩を加へて來るに相違ない、從つて此の兩地を結合すべき交通運輸機關並に通信機關は其の以前に於て相當整備されなければならぬ、第一に電信電話線の如きそれである、にも拘らず目下の狀態では安東奉天間さへ電話が開通して居ない、安東京城間に於ても是れでは甚だ心細い譯ではあるまいか

◇大連長春間の增線は決して忽諸に附すべからざる必要に迫つた譯であるのは勿論であるが奉天安東延いて京城間の線も決して等閑に附すべきものではあるまい、當局の努力と地方人士の奮發と盡力とにより該線の一日も速かに開通せん事を祈つて已まないものである

◇同時に長春哈爾賓間の電信の如き彼の露協約中には決定されて居た筈のものだから此の線も亦是非至急に架設せられ日文電信の往復に支障を招かない樣にして貰ひたいものである、從らに哈爾賓……

を連呼して景氣をつけた所で脚許危いではないか此足許の十分に鞏固にされん事を祈るものである

◎廉賣は尚早

充分なる調査の後にする 楠野仁川府尹談

米價騰貴小賣り白米四十二錢五厘を唱へて我の全國騷擾の當時に比して下既に二三錢の割高となつて居る生活難の聲は再燃して米價何處迄跳上るかと不安の色に包み見る此頃人は誰しも廉賣の再開始を叫んで居るのに就て楠野仁川府尹の談を聞くに昨今の相場より見れば客年の騷擾當時に比して既に割高にあれ共一般の景氣は到底當日の比にあらざるべし即ち今日に於ては鮮人勞働者乃至鮮農の懷加減最も裕福にして今日の米價高も尚ほ些少の苦痛を感ぜざるもの、如くに在り例へば勞働者假りに一日一頭の牛車を借りて粉類の運搬に從事するとせば一日の勞銀優に八九圓に相當するものありと云ふ之を牛車の借用賃等を按分に分配するとするも一日の收入は二三圓を下らざるが如し其他擔軍君の如き尚今一日一圓以上一圓五十錢の收入を得る敢て困難ならざるが如し斯の如く最も下層にある鮮人勞働者にして現下の生活に差したる困難を感ぜざるとせば其他は一部內地人の俸給衣食者のみ極度の苦痛を感じつゝあるものと見るを得べし然して今日に於ては之等俸給衣食者と云へ共既に相當の臨時手當を給與せらる・等ありて其の收入も餘程の增加せるものあるを以て徒らに米價昂騰と云爲して廉賣を急速する如きは誤れりと爲さざるべからず故に今暫らく社會の實情を調査し然る上に於て若し必要あらば直ちに之を實行するに敢て躊躇せざるべし

◎副業から特產物になつた叺の製造

◆淸州…五松里…芙江◆

米穀の生產激增に伴ない叺の需要は一層其必要を認むるにより淸州有志の合資組織を以て昨今淸州物產會社を設立し農閑期に於ける農家の副業を獎勵し自作自給の途を講じ細叺の購入と共に一般に供給しつゝあるか其成績頗る良好にして淸州、五松里、芙江の三箇所に檢查場を設け之れが購入をなしつゝあり日下日淺きを以て概して三等叺乃至雜穀出廻り用の物を製出し居れるが淸州郡廳に於ては各地に技術員を派し改良指導に努め着々好績を收め居れり最近の相場は三等叺二十一二錢、二等叺二十八九錢、雜穀地廻り用十七八錢にして叺市數千枚の出荷あれば限定數四十萬枚は容易にして地方に於ける有望の事業たり

今其成績を調査するに 淸州にては一月二日二千三百六十七枚 八日に三千七百二十七枚 十三日は四千九百二十八枚 十八日六千二十八枚 二十三日に六千二百二十八枚にて 五松里檢查所にありては五日二千九八枚 十日三千三百七十八枚 十五日六千六百七十九枚 二十日五千九十六枚の成績を示せり

尚芙江に於ても同數の成果を收め各所共累進的に生產を增しつゝあれば當地方の需要は固より進んでは他地方へ供給するに至るべく思北有數の副產物たること疑ひなかるべし（淸州）

◎滿洲と倉庫業

◆勃興な機運大に動く◆

從來滿鐵沿線中倉庫を有せる驛は其數甚だ多からず殊に其倉庫も多くは滿鐵經營のものにして規模大ならず且つ荷主としては種々不便を感ずる點ありしが尚ほ地方住民にして是れが經營を開始せんとする迄には至らざりしが近來南滿一帶は勿論西伯利北滿方面の貿易急速に進展し貨物の輻輳夥しく爲めに輸送力是れに伴なはざる爲め荷主の迷惑甚大なるもの擧げて數ふべからず且つ將來の趨勢を考察するに出入貨物は益々增加の傾向著るしきより昨年來倉庫營業に着目するもの漸く多く各調查研究の上其々計畫を樹立し居れる模樣なれば本年建築時期にも入らば沿線主要驛に於る滿鐵倉庫の擴張と相俟つて地方人經營の倉庫も建設を見るべく其の內代議士加藤定吉氏を中心として計畫されつゝありし開原倉庫などは主なるものなるべく又奉天藤田九一郎氏經營の南滿興業倉庫も本年は鐵道西側に地を卜し擴張增築に著手する筈なる外尚多數の計畫發表を見るべく兎に角滿洲に於ける倉庫營業は著目に價すべきものあるべしと

◎繰綿新工場（群山）

群山不二商業株式會社の經營に係る全北指定買收棉繰綿工場は道內棉作事業の發達に伴なふ產額增大の結果從來の設備を以てしては作業意の如くならず昨年繰綿工場設備の大擴張を加ふるに決し直に明治町通り東海岸に敷地を定め工事に着手し爾來敷地の土工と工場の建築工事及機械關繰綿機の据付等順を追うて進捗し愈々一月中旬諸設備の完成を告げ一月二十五日より新設工場に於て繰綿作業を開始するに至りたるが新設備に依る作業能力を聞くに原動機はスチームエンジン七十馬力にして繰綿機三十五臺を据ゑ一日の作業高は原棉三十萬斤なりと

◎米市場活況（淸州）

客臘開市せる淸州米市場は著々整頓して又地方よりの店舖借の申込多く殆んど全部契約濟となりしが地方出穀は悉く同市場に運搬され絕對に同所に於て賣買されつゝあれば其市場、騰上げ氣味に常に緊張して强氣配を示し商況頗る活氣を呈せり因に市場の賃銀は特等十圓二等八圓、二等六圓、三等五圓四等四圓にて契約せるものなりと

◆紫榮の側面……新義州◆

種別	內地人	鮮人	合計
藝妓	五七	一〇	六七
娼妓	五〇	三一	八一
料理店	一七	一五	三二

◎兼二浦製鐵所の產額四百萬圓

昨年中に於ける三菱兼二浦製鐵所產出に係る銑鐵及び副產物たる硫酸、安母尼亞、コークス、ピッチ重油、中油、輕油ナフタリン等の產出額は左の如くなり但價格は時々變動あるを以て昨年十二月に於ける價格を以て通算せるものなり

種目	噸數	價格（圓）
銑鐵	四〇、一二九	一、四七四、五一五
骸炭	五九、三三二	二、二一三、二八一
硫酸安母尼亞	六六五	一九五、五〇〇
ピッチ	一、一一四	三〇、〇七八
重油	八八六	三八、九七〇
中輕油	三四四	一〇、四一〇
ナフタリン	三五九	四、七七〇

即ち此の總額實に三百九十六萬七千五百二十九圓に達せり（兼二浦）

◎干潟を利用して百町步の新耕地

昨秋來東拓に於ては鎭南浦對岸黃海道側の上下流に通じて何事か調查を爲しつゝあるやに聞けるが一說に依れば同社にては同地方面の廣漠なる干潟地の灌漑を企畫し水田經營を爲すもの、如く若し右にして事實ならんには江岸の干潟地約一百町步に達し居れば獨り黃海道の爲めのみならず米收不足の際此種の事業は國家的好個の企業なりと某有力者は語れり（鎭南浦）

◎馬山の米價

馬山地方に於る最近の米價左の如し但し一石

市地別	二等米	三等米
馬山	三七、〇〇	三七、〇〇
龜浦	三七、三七	三六、七〇
淸道	三七、五〇	三六、九〇
倭館	三七、五〇	三六、九〇
泗川	三七、七〇	三七、〇〇
金泉	三七、五〇	三六、九〇
密陽	三七、三〇	三六、九〇
慶山	三七、四〇	三六、八〇
蔚山	三七、〇〇	三六、九〇

而して一等米は目下品薄の由なれば市場の公定相場を知るに由なし聞く今や陰曆鮮人正月の近づきたると共に豫期以上多數の同米ある由なるも何れも强氣にて小賣一等米一斗四圓四十錢を唱へつゝあるが猶昂騰せん勢ひなりと（馬山）

◎活氣に充てる裡里の新機運

◆新興會成りて是より◆ 急速に發展せん

裡里は湖南線中央の分岐點であり大農地の中央であり、形勝の地を占めて居ながら從來兎角に遲々として振はず、客歳などは兼二浦方面へ多數の移住者を出だし一時は大に悲觀され居りしが、客秋來稍景氣を盛返し內地資本家など三四人も込み來りて此處を本據として附近の土地を買占むるもありて山鰈螺加賀美家の如きは將來裡里市街の中央となるべき高燥の數町四千坪を買入れて近く邸宅起工の運びとなるべく其他營業に關する二個の大會社は設立され、中外電氣會社は本月より市內の大部分に電燈を點ずるなど近來は一入人氣引立ち來り爲めに從來同地の社交團體たる懇話會にては物足らず有力なる團體を組織せんとの議起りの去る二十六日料理店玉ノ浦に集合せる人々三十餘名に及び何れも裡里の向上發展の爲め有力なる新團體設立の必要を唱へ即座に規約合議員吉井文一郎氏を座長に推し『新興會』と命名し創立委員として吉井、佐藤、三枝、天野、古川（熊）、鎌田、山下、荻野、宮原、土束の十名を選擧し吉井氏を委員長に推し遲くも來二月十一日の紀元節までには發會式を擧げんとの議決を爲し夫より宴に移りたるが席上第二裡里紫榮會長山內兵八氏は自己の率ゐる紫榮會を解散して本會の爲に努力せんと述べ懇話會員某氏の如きも同會員の大部分を本會に入會せしむべく勸告したしと語り先づ以て裡里の資格を向上せしむべく郵便所を昇格して郵便局たらしむるの急要を說くものあれば電話架設の運びを希望するものあり、泥濘膝を沒する道路改修の急を特に通學兒童の爲めに慨するものあり近く決定すべき新面長候補某氏の人物評を試むるもあるなど何れも同地發展の爲め活氣に充ちたる會合なりし

人口…兼二浦（黃海）

內地人	一二四三	二六五〇	一八二五
朝鮮人	三三〇八	八三六六	六五五四
支那人	一〇五	六五五	一五

（人口總計）二萬一千三百六十五人

◎女子教育上の面白い觀察を

して歸つた平壤女學校長

……服裝問題は尚未解決……

寧ろ大食の獎勵

去る十二月廿日より內地教育視察の爲出張せし四日歸校したる平壤高等女學校長上野直昭氏は左の如く語る（平壤）

今回視察の主たる目的は寄宿問題と學校、生徒の體育狀況、職業教育に關する狀況、生徒の信仰狀況及び之等諸點に關する生徒の個性等に就てゞあるがその內最も目に見ねて苦心の情の現はれてゐるのは體育問題より生ずる

◆服裝問題 である元來日本女子の服裝なるものは體育上から云へば最も不完全なもので男子は大體に於て洋服を用ひられてゐるが今更女子の服裝を男子の如く洋服にすると云ふことは現今の財合到底不可能事である從つて現在の日本服の儘之を體育上最も完全に適合せしむると云ふ・ことに就てはその半面に

◆一の弊害 を生ぜしむることになるそれは即ち美觀を失することになるのでこれが最もその困難なるものである今度自分の視察して來た學校は主として都會地のみの即ち東京、大阪、京都方面であつたが或學校では

◆袴の裾を 二つに割つてズボンの樣にし頭には男子の運動帽の樣なものを冠らせてゐるのを見た成る程袴を二つに割ると云ふことは足の運動に非常に便利であり又頭に帽子を冠ると云ふことは結髮が解けないと云ふ點から又非常に都合が好い樣であるが然し美的方面から觀察すれば

◆餘り感心 したものではない又或學校は全部體操服を著用せしめてゐる學校もあるがこれも常服とすることは不可能であるこんな風に種々樣々に考案されつゝあるが未だその適當なものは見られなかつた然しそれ丈生徒の體育に注意してゐる爲に生徒一般の體格は確に增してゐる

◆其證據に は身長が非常に發達して所謂大女が多くなつた樣に見受けらる・が之は國家から云つても實に悅ばしい現象と云はねばならぬ何しろ食糧の點から云つても成るべく大食せしむるといふ方針をとつてゐる樣で或る寄宿舍の如きは一人平均

◆五合三勺 の米を食させるさうであるが從來日本婦人は强て小食を裝ふ樣な弊風があつた爲め其體格に及ぼす結果は自然不良の點が多い譯で要するに女でも大食するものはそれだけ體格が增すのであるから多く食はせるといふ風に獎勵してゐるといふことである

◎氷の記錄（大同江） 既往二十年間

平壤稅關出張所調查に係る明治三十二年以降二十年間に於ける大同江の結氷期を見るに最も早く結氷せしは明治四十二年の十二月一日にして最も遲きは大正二年の十二月三十一日なり而して解氷の早かりしは大正四年の二月三日、遲きは明治四十四年の三月二十五日なり又結氷期間の長きは四十年の百二日、短きは大正二年の五十日間なり、左に累年の結氷及び解氷期日を示すべし

◇明治◇

年次	結氷（十二月）	解氷（卅三年三月）	日數
三二	三十日	廿日	八一
三三	三十日	十二日	七三
三四	二十日	十六日	八七
三五	二十日	十日	八一
三六	廿一日	三日	七三
三七	三十日	廿一日	八二
三八	十三日	廿三日	一〇一
三九	廿一日	十三日	八三
四〇	四日	十五日	一〇二
四一	十八日	一日	七四
四二	一日	九日	九九
四三	十九日	六日	七八
四四	廿四日	廿五日	六四

◇大正◇

年次	結氷	解氷	日數
一	廿二日	十八日	八六
二	卅一日	二月十八日	五〇
三	十三日	三月九日	八六
四	十一日	二月三日	五六
五	十八日	三月十二日	八五
六	五日	二月廿五日	八二
七	十四日	……	……

◎寄てたかつて喰物に仕樣とした氣の毒な田舍娘

鳥取縣倉吉町大字中町山本ふみ（二）は昨年十二月末家庭の事情ありて平壤府[illegible]町に住む知人を訪ね渡鮮したるが訪ねたる先の人は之れに同情し何彼と世話をする一方故鄕の親許に其の由を通じたるにぞ親許よりも宜しく賴むとのことにて遂に[illegible]町の近江屋旅館へ女中として附かず食客ともつかずに預けられたるが茲に昨年の暮近江に手傳ひとして入込める女に島田はや（[illegible]）といふ者ありしが彌かる惡婆にてふみの初心な田舍娘なるを付け込み喰物にせんと甘言を以て同人を欺き十二月二十日兼二浦明治町の浦島といふ飲食店に賣り飛ばしたるが其の後もはやは自分の情夫と共謀してふみを本溪湖方面に賣飛ばさんとする下心なりしが茲に浦島に出入する大工にて桑といふものもふみに目をつけ甘言を以て欺き浦島方より暇を取らせ本願寺附近の溫突に匿し置きたるを平壤の知人が尋ね來り兼二浦駐在所に願出で大川刑事の手にて搜し出したる上知人に引渡したりと（兼二浦）

人口…鎭海（慶南）

年別	戶數	人口
元年	一、八〇三	六、〇二八
二年	一、七七二	六、〇〇八
三年	一、五一二	五、一四〇
四年	一、四六七	五、二九八
五年	一、四九七	五、五九八
六年	一、三五九	五、二九六
七年	一、一六八	四、五四三

◎驛の米（大邱）

大邱は昨今米穀の出盛り期なるに加へ特に近時交通機關の完備に連れ大邱米穀商人側に於ても各方面に活躍を試みつゝあるを以て近來大邱に廻着する穀類は頓に激增し昨今の大邱驛頭は穀類の山を築き驛倉庫內外に堆積せる穀類は約六萬叺の多數に上り大邱は今や穀類の一大集散市場と化せるの觀あり

◎七回の剽盜 盜た金が十圓餘

平南大同郡大同江面將進里居末長蔣（三三）は賭博を常習と爲し居れるも近頃手許面白からず何とかして賭博の資金を得んものと惡計を廻らし平壤府の市日に際し其歸途に於て剽盜を働き一儲けせんと企て同里及び三井里洞道路に於て夜に乘じ棍棒及び庖丁を以て通行者を待構へゐたる折柄通りかゝりし尹燦永といふ者を脅かせしも應ぜざりしかば庖丁にて斬付け左肩胛部に疾病休業五日間を要する打撲傷を負はせ其後も同一手段にて七回も剽盜を働き合計金十圓餘を强奪し船橋里に於て賭博開帳中平壤署の田川巡査李巡査補に取押へらる（平壤）

◆◆日本賣藥の大持て◆◆

西伯利にて日本の賣藥の賣行好く好評なる爲め米國の賣藥に日本の商標を使用せるものあり因に感冒藥アスピリン一磅十二圓位なりと

◆◆賣藥店主の所拂ひ◆◆

天津にて可成の手擴く營業しゐたる賣藥商村井延壽堂こと西田三郎は禁制品を屢々密輸入せし爲營業を禁止され店主は退去を命ぜらる

◆◆門松を專門に盜む◆◆

滿州市中で正月匆々各戶の門松が紛失する事夥しかりしが此賊は前科三犯金丰洪（三〇）と知れ逮捕の上審理中の處懲役六箇月に處さる

◆◆石油で困るばかり◆◆

泗川（慶南）にては石油一合二十錢となりしも其後十四五錢に弛み勝なりしも又調子となりて十七八錢を唱へ相變らず品拂底にて困り居れりと

◆◆鮮人の飛行家志願◆◆

大邱の鄭雲任（二三）といふ大阪自動車學校を卒業せし青年は未だ朝鮮人中飛行家の出でざるを慨して飛行學校へ入學志願書を差出したり

◆◆絹織物が安くなる◆◆

內地にて生絲の投資初り爲に絹織物の下落となりて昨冬二十圓もせし羽二重は十二圓位大島銘仙共に下落すと云へるが鮮滿は未だく

◆◆廉賣の齎す惡結果◆◆

米の廉賣にて是迄米を食はぬ者迄米の味を覺え其結果消費量を增大し米價を益吊上ぐる結果を生ずべしと平壤某米穀商慨して語る

三寒四溫

▲大連から歸つた人の話▲大連の市中には藝者が四百人ほどになりました名古屋の人が第一大阪京都の人が第二、長崎縣附近の人がずつと下つて第三、東京の人はこれより數いくらです▲藝者の値打から云つても右と同じ比例の格式で只東京の人だけが數は少いながらも別格に立てられてゐます▲お客樣は三井物產の人が一番巾が利きますよ▲道がよくて食物が安くて家が綺麗で不自由がないから東京にゐるより餘程文明的です▲景氣は一寸沈んで來ましたが併し盛んです、盛んなる例を一つ擧げますと每年大豆商組合の新年宴會といふものがあります此の宴會は客の數も多く藝者の數も多く料理も贅澤な點に於て東洋一と云はれてゐます▲而もその宴會の費用といふのが、一年間に大連埠頭でこぼれる大豆を集めて賣つた金の賣上の一部ださうです▲このこぼれ豆が一年間二萬一千圓ぐらゐに上るといふのでも知るでせう▲大連で男は東京言葉を使ふのが巾が利き、女は大阪と名古屋の合の子言葉が巾を利かしてゐますと

九日午前入港……丸上陸一二等客 一等十一名、香椎秀一、中島文洪、小林虎助、加藤政郎、鈴木進一、水田源禅、岡田新三、湖毬二、外人四名 二等（四十七名）秋安次郎、馬場喜一名、倉崎、內田憲三郎、西阪業二郎、多田きよ子、新野吉兵衛、小松長二郎、佐……
……次三郎……（三百三十二名）
廿九日午後入港……一二等客

氣象報 （[illegible]） ▼氣壓の配置 高氣壓 低氣壓 長崎附近七百[illegible] 滿洲、支那北部 七七八

（未ちつひ） 年九十百八 ……八十八夜 ……入梅 彼岸 社日 三月十八日 九月二十一日 ……

演藝案內

壽館 本町二丁目 一月三十日より 法恩山加子師披露琵琶會（旭扇京城支部） ▲釜山入子 ▲市松小子 ▲宇治川下子 ▲太田道灌子 ▲渡邊竹子 ▲伏見へ吹雪子 ▲大高源吾子 ▲屋島 ▲法恩山水波旭子師 ▲川中島 ▲芳流閣 ▲本能寺 ▲茨木 ▲春日山 ▲合奏

有樂館 活動寫眞常設館 ▲寶窟ユニバーサル週報六十四回 全壹卷 ▲喜劇音樂狂 ▲大活劇五人男 六千呎 ▲米國ユニバーサル社パイソン映畫 人情劇『深夜』全二卷 ▲英國ルーズクリフチャード孃出演 世界的特別連續大冒險活劇 奇怪なる幽靈船 十八編中 九、十編 ▲人情劇『恐怖の影』全五卷

大正館 櫻井町 電話八七三 一月三十日より新寫眞 日本活動寫眞株式會社代理店 ▲新派『司令官』全五卷 ▲米國キーストン社 チャプリン酩酊 ▲舊劇『竹中半兵衛』全四卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇 ▲前廿銀の鮫鞘 ▲三十三所壺阪靈現記 浪花節 京山吉右衛門一行

文樂座 本町五丁目 電話一三二八

壽座 京城本町 電話五七八

黃金館 電話（夜間）二六六二 ▲假名手本忠臣藏

寫眞助手一名募集す 年齡二十歲以上三十歲以下にして寫眞撮影に經驗ある者希望者は履歷書携帶來社あれ 京城日報寫眞部

京城古市町電話二七四六 畑兄弟硝子工場 主 畑 發賣 エキス瓶……に限る 其他一般の御注文に可應候

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎 京城本町壹丁目 株式會社百三十銀行京城支店 電話 五八番 二二四番 振替貯金京城一一九番 銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面及朝鮮樞要の地に有

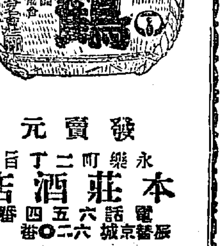
宮崎式ペーチカの能り並に功果に付ては昨年新設の榮を得ました東洋拓殖會社、大同生命保險會社殿鮮滿工業社殿古城梅溪殿淸水組殿等の方々から尠なからざる御賞讃を得て居ります 本年新に御普請をなさる御方々や建築設計等に御從事の方々が御設計の中に必ずペーチカを御忘れのない樣に切望致します ペーチカ築設 耐火煉瓦 無煙煉炭特約販賣 （說明書進呈） 京城府漢江通八番地 宮崎組 電話龍山五四二一 振替京城五四〇九

平壤小野田セメント會社製 石灰販賣 京城古市町 苫米地商店 電話九四一 振替京城五三一〇八番 三三番

捕雀用極上等絹糸製 カスミ網 高サ六尺 長サ三十間 前金に限り送料 引換 送料貳拾貳錢 吉備商會製網部 朝鮮京城永樂町 電話三一四番 振替京城四三一八番 捕雀の時季は今ですカスミ網は小供でも張れます一度に數十羽位は容易く捕れますから晚餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります

商號變更廣告 小生儀從來（商標）の商號にて營業罷在り候處今般都合に依り（商標）の商號に改め從前通り營業仕候間不相變御愛顧御引立の程奉懇願候 仁川米豆取引所仲買人 仲買店 店主 平田直達 電話一五八番 一五九番 電略（カネキ）又八（キ）

優等淸酒



發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

▲軍隊拂下被服類▲ 京城府北米倉町 電話千百十二番 村上商店 營業品目 絨服 防寒具 防寒用具 馬具 外套 各種 作業服 手袋 毛布 其他拂下品一式

商況

東京株式特電
日後場引値

東株 一八九、五〇 / 同新 一六六、五〇 / 商船 一四九、五〇 / 同新 [illegible] / 郵船 [illegible] / 同新 [illegible] / 東汽新 [illegible] / 鐘紡 [illegible] / 同新 [illegible] / 東紡 [illegible] / 富士紡 [illegible] / 同新 [illegible] / 寶田石油 [illegible] / 横濱取引 [illegible] / 新高製糖 [illegible] / 北海炭坑 [illegible] / 滿鐵 [illegible] / 第一新 [illegible] / 第二新 [illegible] / 東拓 [illegible] / 同新 [illegible]

東京現株中値
二十九日中値

東拓 七七、〇〇 / 同新 [illegible] / 朝鮮銀行 一六一、〇〇 / 同新 [illegible] / 南滿鐵道 一四九、七〇 / 同新 一一三、五〇 / 第一新 一七四、〇〇 / 第二新 二五、〇〇 / 南滿洲興業 [illegible] / 朝鮮製糖 [illegible] / 滿洲製粉 [illegible] / 京城電氣 五六、五〇 / 同新 一七、〇〇 / 朝鮮瓦斯 二四、〇〇 / 商船 一三〇、五〇 / 同新 一〇一、〇〇 / 郵船 一八八、五〇 / 同新 [illegible] / 鐘紡 九〇、五〇 / 同新 二四八、〇〇 / 東株 二三七、五〇 / 同新 [illegible] / 朝鮮興業 [illegible] / 寶田石油 [illegible]

東京期米特電
三十日前場 寄付
當限 三十九圓二十九錢
中限 三十八圓六十九錢
廿九日後場
寄付 三八、二五
高値 三八、二五
安値 三八、一三
止め 三八、二〇
三十日前場 三八、三四

大阪株式特電
二十九日後場 止め

宇治川水 [illegible] / 京阪電鐵 [illegible] / 東紡 一〇二、一〇 / 同新 一〇二、〇〇 / 合同紡 一〇〇、〇〇 / 鐘紡 [illegible] / 同新 [illegible] / 東洋紡 一三〇、〇〇 / 同新 [illegible] / 商船 一五五、三〇 / 同新 [illegible] / 郵船 一二九、二〇 / 同新 一〇四、四〇 / 堂島米穀 九八、七〇 / 同新 [illegible] / 東京株式 [illegible] / 同新 [illegible] / 大阪株式 [illegible] / 同新 一七二、〇〇 / 日糖 一七〇、〇〇 / 臺鐵 [illegible]

大阪三品特電
二十九日前場

一月限 / 二月限 / 三月限 / 四月限 / 五月限 / 六月限 三三五、九〇

大阪期米特電
三十日前場 寄附
當限 三十九圓八十錢
中限 三十九圓十二錢
廿九日後場
寄付 三八、三六
高値 三八、四五
安値 三八、三六
止め 三八、四五
三十日前場 三八、三四

兵庫期米特電
廿九日後場
寄付 三八、九六
高値 三九、〇四
安値 三八、九四
止め 三九、〇四
三十日前場 [illegible]

雜報

●正米持保合ひ
正米は寄節季に於ける寄物も先高見越しと、買方の注意とにより期待の如き増加を見ざりしのみならず、鮮正も既に目前に迫りきる故先仁川定期は今前場に至り三十七圓を突破し十七八錢まで新高値に上りたる等にて荷主は一段腰を強め來りし傾向なるが現在移出口としては白米こそ向にありと雖も引合ひの點にて玄米に至つては矢張

内地の採算に比し七八十錢の高値
なり其に思惑と仕入關係によるき定期又同様不自然なる相縮少

人爲的相場
演出せる折柄にて精米筋は眼先の反動來を恐れ一般特成殿重となり買人の附値は寧ろ下道ひの傾ありと雖も然れども荷主は此際元より安値には手放すべくもあらず市況は殆ど保合ひの姿を呈し相場は

上下何れにも動き兼
たるもの、如し眼先鮮正休み中は出穀薄なる爲に僅に現市況を維持するや量り難しと雖内地との關係が依然今日の状態より脱せざる以上は如何に頑強の鮮内相場も到底永續すべくもあらず

●支那粟一服
日連の反動を招くらんか

晩今日の反動を招くらんか
り那粟も低調を續け來りしが支那粟も頭を擡げんとする模様を呈せり相場は依然高値の儘僅かに持合居れるが目先四圍の事情如何に依つて分岐せんとする模様にて此邊市況一服の姿となり目立たる商内なし

●大豆再び好調
輸送の不能と移出筋の買進みにて一時落付模様なりし大豆も關税撤廢といふ材料のあるが依然小豆の暴騰と共に再び買人氣も進め來りしもの、如く氣配ガリ〳〵好調を呈し來れり

●小賣白米傍觀
白米は卸値の引上げと同時に小賣値上げに付ても同業者の協議ありし事は昨報の如くなるが今回値上げ實行の件は昨年八月の最高と同様一等米の四十三錢となるを以つて此際當業者中には慎重の態度を取らざる可からずとの意見多く其結果は此處數日間形勢を傍觀し旗々原料の引弛みなきを見定めたる上值上げを實行すべき事に決定したる由なるが鮮正休みとなり出穀の一層稀薄に陥る事は免かれ難く自然原料相場の引弛みも望みなきより月將り早々より之が實行を餘儀なからしむべし

下關相場
▲朝鮮米は閑へ 玄米七五十叺節の輸入ありしが大抵先約定に充して買物としての出廻り僅少なると産地との比較上不引合を極めに米主の買腰強きに依り前日の如き漸升歩調にありしが市米の低落相の如く後行閑へ模様を呈し其の後の如き來月物に四十二圓九十錢より四十三圓處は相當出來したるも四十二圓七八十錢唱へなり而して朝一等白の現物百十叺は四十二圓七十錢に手合せ行はれたり
●大豆は此邊平 其後雄基産三百叺元山物一千八百叺同大玉七百叺端川薄荷五百叺等の輸入ありしが中には元約定の加はり居ること過日來相當に賣れ行きたると同時に漸次相場の引締りを見るに至りたるが目先き迫々あらんとの氣勢へ且つ舊年末に差迫りたると地方よりの買注文薄らぎたる旁其後一寸伸び悩み風情を呈し目先き此邊保合ならんと期待せらる
●小豆は弛ます 本品は其後別に是れと云ふべき商内行はれずして市況不引立なるも何分昨今出廻り僅少なると産地も相變らず強硬なる狀報ありて不引合なる爲に各手持筋の窟強き依り
▲肥料の現況 魚肥は特殊品を除く外は只管買人警戒の姿にあるもの、如し然れども何分出廻り乏しくして賣り物多からぬ折柄値頃は何品に限らず段々買崩更に人氣弛まず

釜山穀物市場
前日來不變を示したる氣先人氣弱合なるも内地米の保合を入れて市況閑散の裡にも大體相場は弱保合を呈したり(二十九日 釜山特電)

▲朝鮮一等 白米四十三圓
▲同 四十三圓二十錢
▲同 四十三圓五十錢
▲朝鮮黒豆上 二十四圓五十錢
▲同 二十一圓七十錢
▲同大王大豆 二十一圓六十錢
▲元山大豆 二十一圓六十錢
▲端川薄荷大豆 二十三圓五十錢
▲深川大豆 二十一圓六十錢

各地商況
○大邱米況 二十九日 昨期米の軟和により一氣に三四十錢方低落を示したる搜先本日期米幾分の引返しを入れ市況容易に崩落を許さず出廻りとしても正月仕舞急ぎに昨今二三千叺を下らず賣物も相應豐富に持出されあるが何分荷主側としては高値を

仁川正米
一般的なる捌け口を見出し得ざるに加へ米價も飛角高値を維持し居る杯各手持筋の意嚮概して強く…… 引續き人氣強くなる處より大概玄米に反して一等保合にて十一〇見當にて歩々

仁川期米
二十九日 二十九日前場
第一節 各地入電未著なるも前日大阪の氣丈を移して益々買氣熾烈を極め立會は當限出來不申中三十六圓五十錢より二十錢を下押し

三十日前場(俄然爆發)
押し先三十六圓九十五錢と十三錢
高に寄付 破して十錢を挺發せしも買物現れ三十六圓九十八錢まで下押し押目は買物優勢にて三十七圓〇五錢迄返し十錢引第二節 當中出來不申先三十六圓九四錢より七圓丁度と跳返し三十六圓九十七八錢を採合せし

〇八錢と沸騰し三十七圓
第三節 當限出來不申中三十六圓丁度より三十五圓九十錢と下押し先〇六錢より買物多く十一

大阪安の噂
二十九日後場各地より寄付本著なるも前場の氣丈を移して賈氣熾烈に立會は當限出來不申中三十六圓丁度と三十五丁の上放れに始めし、因店の利喰賣に三十五圓九十錢より八十錢と下落したり安値は買物の◎其他より現れ九

理想買ひは大に警戒を要す
吾々は去る大阪より寄付は三十六錢と逆し先限は三十六圓七十五錢と十四錢高寄付きしも三錢と緩みし……

仁川米豆取引所仲買人 市場雜觀
昨六大阪前場一節三十八圓三十四錢二節三十七錢三節三十四錢四節三十一錢六節四十一錢七節 二十九日後場各地寄未著なる……

仁川取引所 二十日の三月限
前場 寄付 止め 高値 安値
一月限 二月限 三月限 ……
賣買取組高
一月限 四千七百石 / 二月限 七萬千三百石 / 三月限 六萬八千七百五十石

北濱たより
當地は取組も多からず殊に本年の三の打撃に由て薄弱なる買玉は一掃せられて居るから納會が接近するとも大なる投崩れは無いであらうとは認められて居るけれども京は已に三十七萬の喰合を有し而かも暫期中には造船海運製鐵化學工業なぞの時局關係のもの多く而かも此の時是等の株の背適ら著しく取組まれ居る丈けに是等の株の此の消化困難より崩解を見る事はあらざるかと隱かに材料となつて居つたのであるが果せるかな當限納會の期日に迫りし今日に於て……

紡績株
汽船株が不の步調を採りたけに稍や賈氣を誘發したやうであるが汽船株が買物に低落したのは紡績株の現在に買物の材料があつたからでもあるけれども紡績株は之に下げ歩調を採つて居るので……あらうから注目せられて居る

新高値を演出して打
第四節 當限不申中三十六圓八十錢より買物現れ三十四錢と新値を現し……
第五節 當中出來不申先十二錢より買物多く十四五錢と採合ひ八錢と新高値を演
出して打止む

煎れに値頃思ひ賣り
三十六圓丁度と大引せしが……

世六番角力
毛谷村六助 百三十席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

秀吉公は關白職を甥の三好秀次に譲り、其身は隱居して太閤と稱し大阪城に居ります、此の三好孫七郎が新關白秀次となつて政事を司ります、處が秀吉公の愛妾淀君のお腹から男子御出生になりお名を捨丸と名付けました、此のお方が後の秀頼公でございます。淀君が自分の腹より出生した捨丸を以て家督を譲せんと思ひ、閨中に於て秀次公の讒言をする舌頭骨柄（かしこ）くして人を斷つといふが、閨中の讒言位恐しいものはございません。秀吉公も淀君の色香に迷ひ、且は我子の愛にほだされて自然秀次を憎んで捨丸君を以て家督を襲せんといふ心組になつた、處へかて加へて表役人石田治部少輔三成は腹黒き人物故秀次公を失はんと折に觸れ事に臨んで秀次公の事を悪ざまに申上げる、裏表から攻られては秀次公も敵はない、最も秀次公にも過ちはございました、第一

三十六人といふ妾を置いて日夜酒宴遊興のみ、奸臣を愛し忠臣を遠ざけ我儘の振舞のみ、それのみならず千利休の娘百舌屋治右衛門の妻おさじといふ者を手討にして北政所のお怒りに觸れました、此のおさじには貞女料として二百石附けてございます、此のお話をいたしますが、利休の娘おさじは十六歳の時に百舌屋治右衛門方へ嫁付きました處、間もなく治右衛門が沒したので實家へ戻り北の政所の御許へ御奉公に上りました、此のお八重樣は藤井又右衛門の娘で、秀吉公が藤吉郎と云つた時分に御夫婦となり、共に辛苦をして今日の身分になつたもので、當時お八重樣は別御殿へ隱居なされて居られます、一日秀吉公がお出になつた時に茶の給仕に出たのがおさじでございます、秀吉公が見ると容貌は勿論如何にも柔順な女、秀『彼は何者の娘であるか』政『千利休の娘百舌屋治右衛門方へ嫁し間もなく治右衛門が沒しました故妾方へ出て能う仕へてくれます』秀

を肯かんのだ汝斬つてしまふ覺悟いたせ』と立上つた時におさじは『お側へ寄つて其の刀を取り『御前樣御冗談も大概に遊ばせ』全く怒る時には耳まで赤くなると云ふ、面には怒つたと見せて内心に笑を含んで居らせられます、

くいたしたなら我が心に從ふかと思召すのでございませうが、兩夫に見さるを女の道と心得ます、決してさじは君のお心には從ひません』秀『イヤさじ恐しくれ、ほんの戯談ぢや、何で最愛の妻を斬らうぞ、惑をして見せたのである、其方の如き貞烈なる女は無い、貞女料として是を遣はす』と二百石のお附を下されました、

まつたものと見ゑて是よりは每日の樣にお出になる、來る度毎にさじを召て茶の給仕酒の相手なぞをさせる、けれどもおさじは一向秀吉公の御心には從ひません、スルと秀吉公突如佩刀を拔いて『秀』コレ八重、年を老て悋氣も大概にいたせ、さじが予の心に從ふべきやが、其方が邪や角申す故云ふ事

『左様か、コレさじこそや、秀吉じゃあると見知り置け』さじ『有難う存じまする』秀『今一杯茶をくれい』さじ『ハイ』秀『今一杯』『お茶の替はりをすること三十六杯』魂消氣にあがるばかり、秀吉公のお目にとまつ

◎商人困らせの留
目下哈爾賓市場に散在せる露貨幣の種類は舊帝政當時の票及びケレンスキー發行の小形票に最近新しく現はれたる露亞銀行發行の票と云ふ此の三種が混入して使用されれるが舊紙幣は甚しき汚損無き限り時の相場によりて通用するも彼のケレンスキーの小形票に至つては二十留及び四十留の兩種に偽造多しとの理由の下に支那商等は舊貨幣との間に約六分より一割位の差を付して安價ならざれば受取らずされど日本人側銀行家に於ては何等の差を付せず出入なし居るが故に其の間妙な關係を生ずる事あり次に露亞銀行の新票はケレンスキー票に比し良質にて形も普通に備はり印刷も鮮明なるより一般支那人間には極めて圓滿に流通し居るも邦人側の銀行に於ては該紙幣を政府の認めたる貨幣として取扱ふべきや否やといふ決定付き居らざるが故に一般邦人銀行は該露亞銀行票を一切受入れざる次第にて之れ等の關係を會得せざる者等は此三種を混合して非常に困り居る向もありとの事なり

人參エキス
京城本町壹丁目 電話 一四八〇番 八七〇番
㋡ 津村兄弟商會

寫眞 京日寫眞製版部
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版
迅速と懇切を旨とし御高覽に供す

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店
仁川海岸町三丁目 電話長三八番

期米賣買の御注文は迅速確實
仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎
仁川海岸町三丁目 電話長六三番

仁川米豆取引所仲買人 今 仲買店
電話一六二番

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ㊇ 仲買店
電話長四〇番・長一〇〇

京城日丸市場
引續き入荷稀薄にて氣配強し たい八〇あなご三五さば二〇めばる二八たこ三五ぼら四〇鯉ぬめ二五あわび七〇なまこ三〇さざえ六〇小物一八

生魚市場

神力三等合格三十七圓九十錢見當
正・内地方引合なるも定期渡米の買進みに地搗玄米保合なるも商談出來せり

仁川米豆取引所仲買人 倉重 (電話) 浅

白米小賣値
四十二錢 四十一錢五厘
白米標準値 四十一圓

牛乳 御用 岡野牧場
京城東四軒町 電話一〇六九番

特賣廣告
銃繪絹 一尺付金五十五錢
但し在品僅少
御申込は本社又は地方販賣店を經て御申込の事……
京城日報代理部 振替口座京城三〇〇番

一月卅一日 (金) 舊十二月三十日
白暗劍 大安 ……

▼一白 用心して暮すべき日なり
▼二黑 骨折り甲斐のなき日なり
▼三碧 兎角くさ〴〵する日なり
▼四綠 親しく懐かしき日にて吉
▼五黄 ……婚移轉棟上旅行等凡て吉
▼六白 意外なことにて喜びごとあるべく萬事を行ふに總て吉なり
▼七赤 目上の引立を得べき日なり
▼八白 人なつかしき日にて花や紅葉の移轉結婚談旅行等に吉
▼九紫 物ごと順調に行くべき日なり但し散財を防ぐべし
一得て引込み思案の日なり

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.
Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ
治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

○ミツワ規那鐵葡萄酒
定價 壹瓶 金壹圓七拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絕

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、周到なる用意の下に精製せる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、健胃、補血、興奮、強壯等凡ての効力を遺憾なく發揮し、規那、鐵及び葡萄酒の天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、消化不良、慢性の胃腸病並に下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經衰弱、殊に病後産後並に病後の衰弱一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

▼如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし
一、食餌の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、足ること云ふ病は無くても何となく無力に感じ易い人
一、産後の滋養を圖り度い人
一、たい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色若く痩せ活氣ならぬ人
一、わる所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、痩せ細く咳や寝汗の人
一、ろ所謂結核性素質の人
一、下痢の永く續いて居る人
一、萎黄病など血液の病に罹て居る人
一、肺結核や腸結核、共の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、加答兒や肋膜炎、其の如き病で發熱の永く續いて居る人
一、ヒステリー的に陥ふ血の道に惱されて居る人
一、ヒポコンデリー的に心氣病に惱されて居る人

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き
身體の强壯を圖り倚新活力を賦與し得べき

○ミツワ人參葡萄酒
定價 壹瓶 金壹圓八拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

風味高潔滋和滋養豐富
元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絕なりと認められたる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして澄爽、其の味は濃厚にして爽快、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を增進せしめ、筋骨の疲勞を除き、消化器の佳良並に身體の强壯を策し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尚健者に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料ミツワ人參葡萄酒を用ふべし
一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、身體を强壯にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、不快な感覺や苦痛を忘れたい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、營養を良くしたい人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、精力が減り元氣の無い人
一、生來虚弱な人
一、身體の疲れ易い人
一、貧血して居る人
一、顔色蒼白め艶の無い人
一、手足や腰が冷えて困る人
一、つかれぬ人
一、些細の事に感ずる人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、神經過敏で心配する人
一、時々氣が失ふ人
一、陰欝な性質など生殖器の病に惱んで居る人

大阪商船汽船出帆
(仁川出帆)
×静山丸 大阪行 一月 七日 正午出
×安東丸 …
×木浦丸 大阪行 二月 二日 正午出
×信濃川丸

(元山出帆)
西湖津、新浦、城津、清津行
安平丸 一月 七日 後十二時
×釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
宮島丸 二月 二日 後九時出

(大連出帆)
上海、基隆、打狗行
須磨丸 二月 一日 前六時
湖北丸 二月十四日 後六時出
内地各港出帆は主要寄港

歐洲行 每月一回 北米行 每月一回
南米行 一年四回 孟買行 每月一回
濠洲行 每月一回 南洋行 每月一回

御出帆
◎外航航路ノ時間ハ五分前ニ乘船ノコト以テ……
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇五五番

◎日本郵船仁川出帆
大連、秦皇島行
酒田丸 一月 七日 正午出帆
高砂丸 二月 十日 正午出帆
都合 二月 九日 正午出帆
仁川海岸町 堀回漕部 電話十番

巴朝鮮郵船出帆
所有代理店ニツキ……

▲敦賀行 清津、城津、元山經由
平安丸 一月三十日 門司 / 二月十二日 元山發
▲浦汐行 清津經由 大阪發、門司、釜山、元山、城津
越後丸 一月 日 元山發
▲雄基行 關門發、釜山、各港經由×印
京畿丸 一月 九日 元山發
咸鏡丸 二月 一日 釜山發
▲元山雄基線 元山迄臨各港經由雄基
咸鏡丸 一月 三日 元山發
▲大阪行 鎮海、釜山、門司、神戸經由
羅城丸 二月 三日 元山發
▲關門行 雄基發、清津、城津、元山、釜山
平壤丸 一月 三日 元山發
×忠清丸 二月 十一日 釜山發
雄基丸 一月二十日 元山發
▲金剛山遊覽線 元山發長箭行 元山發長箭行 每月六回往復 (木浦、濟州島、巨文島)
▲濟州島行 西歸浦、其他島嶼經由 八日 釜山發
▲濟州島行 木浦、西郷、八島沿岸經由 二月 八日 釜山發
▲釜山浦項線 釜山發浦項行每日一回出帆
▲釜山慶山行 釜山及各地經由
慶興丸 二月 三日 釜山發
▲釜山麗水線 釜山、麗水間往復
▲木浦麗水線 木浦ヨリ每日一回出帆
平壤丸 二月 九日 木浦發
▲多島海行 木浦發各島經由
慶興丸 二月 六日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
全州丸 二月 六日 仁川發
▲海州行 仁川發江華島海州相島經由 仁川、海州相互ヨリ每日一回出帆
▲鎮南浦行 仁川發各港經由
丸 月 日 仁川發
▲大連、青島行 仁川發芝罘經由
江原丸 二月 三日 仁川發
本社 京城南大門通(電話長一九五三)
鮮内各港及社外線ノ海運連絡ノ便アリ
釜山 佐藤町 山支店
元山 海岸通 元山出張所
仁川 代理店 堀回漕部
木浦 代理店 山野回漕店
京城 荷客取扱店 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店 電話長一〇七十

京城日報 第五版

[illegible]…發行者は一月廿日左の公表をなした
行債券は所得税を課する五分利付五年券及十年券並に所得税を課せざる四分利付十ヶ年券ミす前回ミ同じく五分利付債券の發行は額面…
年券は額面價額今回の戰爭の爲に發行する將來の長期公債に借換の權利を行する…發行の分は今回…するを得…
…されこも或る場合に受託者には便なり如何となれば受託者は所得税は利息より控除するこミを得…するこ同時に…
…或は從來の登錄債券と同じく…付して一層低率なる所得税が…（デイード）に從ひてのみ讓り渡し得れども利子は登錄證券に…
…すものあり論據左の如し…一分半の低利

◎債券發行總額 國民軍…上半季より更に多く預金增加を示す 五千五百九十九、郵便局貯金高前週末迄累計五千九十八萬五千二百四十磅總計十六億五十九萬一千五…中の最高額なり一九一九年…
…百萬ペセタ右不足は最近…關税五分乃至三割の增加を計畫…

李太王殿下を弔し奉る

在東京 吐峯生

徳壽宮李太王殿下突如病を發して薨去せらる。謹みて惟みるに、太王殿下天資英邁、其始めや國步艱難の秋に享け、時代の洪濤に浴し、百川の波瀾を凌ぎ而して其終りは即ち葬の盛儀に飾られ、天下喪を痛し、黎民共に哀しみ、山河亦幽愁嗚咽の聲を以て包まる。我等今之を眼のあたりにして洵に萬感交々胸に滿つ

太王殿下の御一代は實に起伏重疊、世に假へなき貴重なる犠牲的精神の記錄なり。滔滔たる歐米文明の思潮は、太平洋岸の國々を襲ひて長く東海に其生を樂めるものを脅かし、國際間の折衝競ひ起りて或ひは淸佛戰爭を釀成し、或は天津攻撃の飛報を齎らし、印度は夙に亡く、安南緬甸も又其の社稷を白人の支配に委ね、牢報諜る每に衆心驚愕、曾て史乘に見聞せざる世界變革の事實を眼前に示さるゝの時に方り一葦の水を隔てゝ古來親密なる日本ご舊韓國とは、地球の東端に立てる殆ご最後の要壁として太平洋の仇波に暴露し、爾來同文同種、往昔より兄弟の關係に在るものをして幾たびか流離の難に遭逢せしめんとする危險を追出せり。而して此の世界的颱風の渦中に立ちて千辛に堪へ萬苦に抗して能く一千萬人民の山河を安んじ、之を繁榮に導きしは即ち太王殿下盛徳の致す所なり

我等今に於て太王殿下の御生涯を追懐し、其辛酸多き曲折を憶ふ毎に常に血淚滂沱たるを禁ずる能はず、三韓ご稱せられたる一千數百年以前よりの宿緣が、太王殿下の明斷を得て其生命を一にし、鷄林八道が平和の曙を覗くに至れる現在に至る迄、初めには舊親露派ミ戰ひ、後にはロマノフ朝の壓迫を除き、海に、陸に、文に、武に、如何なる言語を以てするも形容すべからざる骨肉の慘害を忍べり。幾多の紛は此の間に醞釀し、幾多の疑雲は兄弟の交はりを裂き、志士の無辜に殪れ、冤枉に憤れるもの幾百千なるを知らず。而も其の結果は徒爾ならざりき。蓋し故太王殿下能く時勢の趨舍を達觀して同種相合し、同族相結ぶの機運を打開し、李王殿下を補翼し以て吾黎の安寧を計り、東亞の禍根を一掃するに至りたれば山[illegible]くして日本海の水は萬世に[illegible]けく、搖き八道の隅より隅に應々たる旭光の輝くを見、殊に近く王世子殿下の爲に前代未聞の盛典を擧げさせ給ふの時に方り、何等の痛恨事ぞ、倏ち太王殿下の薨去に會ふ。吁昊天無情何ぞ夫れ冷やかなる。英魂永へに去つて呼べども還らず、悲しい哉

聖上いたく宸襟を惱まし給ひ、貴族院、衆議院は滿場一致太王殿下哀悼の決議案を可決し、一昨日衆議院を通過したる國葬豫算は本日貴族院を可決し、國を擧げて哀悼の至誠を表す。太王の靈之れを享けよ。惟ふに京城市外五里の地、金谷の淨域は、必ずや殿下永久の樂土として敬慕の念に充ちたまはん。時是れ大正八年一月二十七日、國葬豫算貴族院通過の日、院內の一隅に於て本文を草し謹みて哀悼の至情を表し奉る

南部烏蘇里施療狀況（三）

施療所は前述の如くバラバシ、スラウヤンカ、ノウキエフスコエの三箇所にして、而も毎日患者の數多く、從つて之が爲め施療區域は未だ地方一般に普及する能はず一日行程以上の地方にある患者にして資產あるものは宿泊旁診療を受けつゝあるも其他の者には此恩惠を與ふる能はざるは遺憾とする所なり

◦地方守備隊にては該施療により鮮民の把握せる心氣を一掃せしめ[illegible]に努めつゝありしが[illegible]洞住民の如きは襲[illegible]に我守備[illegible]宿營の爲め其の設を提供せる後物議を釀したる事項を悔い、同地住民より今回露國官憲に當時の報告取消方を申し出づるに至りしミ云ふ由來該地方に於ては露國官憲の煽動により朝鮮國境に近づくに從ひ排日的氣勢昂上しありたるを以て爲し得ればノウキエフスコエ西南地方慶興の下流對岸地方移住鮮人に施療の恩惠を普及せしむる手段を講ずること必要なりとし之れを要するに施療機關の派遣は時宜に適せるものにして同地方各種階級、鮮人の好評を博しつゝあるの現況にあり

混亂の露國

他力本願の露國民（三）

從軍記者 早川己之利

◎露國民は日本軍がイルクツクに兵を駐めて、ウラル方面に進出しないため、甚く日本の誠意を疑つて居ることは爭はれぬ事實である。記者は或る任務を帶びた數名の將校ご行を共にしたが、何處へ行つても、露西亞人が日本の軍人を待つ事の篤いのに意外の感を抱いた。自動車を走らせる群がハンカチを振り、市中を歩く紳士が握手を求める。チエリヤビンスクの停車內にある、觀戰總司令部にジドリツク少將を訪問した時も、ウハアのサマラ方面軍司令部に作戰部長フイニツキ大尉を訪問した時も、熱誠籠めて一行を歡迎へ、作戰の事から、諜報事務に至るまで、總ての軍事機密を打明けて說明して呉れるなど、下にも置かぬ款待振りであつた。人種的偏見ミ國際的關係から、一目も二目も置いて居た、我等日本人が、「日本人には他國に對する優越觀念は些こもない」何處へ行つても救濟主として迎へられるのだから、肩身が急に廣くなつて、道を往くにも意氣昂然たるものがある。

◎然し己惚ては不可ない。露西亞人が日本人に好感を有するのも、軍事當局者が腸を割つて打解けるのも、皆『他力本願』の賜に過ぎない。現に鐵道沿線に於て、過激派の暴虐を蒙る事比較的少かつたイルクツク、エニセイスク兩縣の如きは排日感情が高くて、屢々不愉快なここに遭遇した、それが漸次西するに從ひ、戰爭の慘禍、過激派の亡狀に對し、苦痛を多く嘗めつゝある地方になると、情況一變して對日感情は恰も、春の日の如く暖かく、蜜の如く甘く、吾人をして何物にか醉はしめねば止まぬものがあるが、それも此れも皆苦しい時の神頼みで方便以外、必要以外何者もないことは瞭である。這般の消息を敏速に感得することの可能るのは何こいつても政治の中心地たるオムスクである。

◎コルチャックは當初日本出兵を熱望するの餘り東京まで出掛けて我陸軍當局に泣きついた男である、それが英勢力の後援を得るや自ら露國海軍中將なご稱する程に頑強な親英主義に傾き、その餘露政府を乘取るや倏忽、排日の態度を現はして、日本軍のウラル出兵を拒絶するに至つた、夫と共に我武官を冷遇することは甚しく、或は面會を拒絶し、或は日本武官のみを宴會に招かないこごもあつて、[illegible]少將以下のオムスク派遣武官をそゞろに今昔の感を抱かしめたものであつた。それが最近に至つて我政府がセミヨノフ對コルチヤツク問題に關し、秉公持平の態度を取る事を知るや、遽に媚び諂らひ、記者がオムスク着の前後の如き連日連夜我武官を招待し、命に疲らしめたものであつた、[illegible]論及び言論界の論調を見ても、佛軍のウラル戰線來援を以て[illegible]に露國の救世主なりミ滿腔の感謝を捧げ、日米兩國には厭味ミ[illegible]を並べたが、ウラル戰線不利ミなり、日本軍の來援必要となれば、急に論調を變へて、日本を讃美し日本軍のウラル進出を希望するなど、その冷熱過激なる、常識を以て判斷することが出來ない。要するに露國民は、近づくれば狎れ、遠ざくれば怨む、亡國民根性を極端に發揮しつゝあるから、是に對して我國は最も愼重な態度を以て臨まねばならぬ事ご思ふ。記者は之に對する露國民の感情は如何、聯合與國軍が何をなしつゝあるか彼此研究の上ウラル出兵は果して是か非かといふことに就いて少々述べたい。

財界の新舊人（19）

西海生

足立丈治郎君（上）

東洋畜產專務

東洋畜產興業會社は朝鮮に於て東洋拓殖の生める娘會社の嚆矢である、東拓ミ東畜の關係は可なり密接せるやうに見ゆる、それは東拓が東畜の資本金二百萬圓の四分の一の株式を有つたミ云ふ許りでなく、東畜の第一期計畫に屬する事業の基礎は、多年東洋拓殖が朝鮮に於て營み來れる一萬數千頭の耕牛貸附業務を、そつくりその儘引受けて築いたミ云ふに見るも知る事が出來る

△

更に東畜の成立ミ共に、東拓の殖產課長足立丈治郎君が專務取締役ミして入り、愈々東拓ミ東畜の關係を密接にした、[illegible]君は[illegible]明治[illegible]年東京帝國大學[illegible]卒業[illegible]に於ける農學士としては古顏である、學窓を出で、三十八年に退官するまでは岐阜、埼玉、三重各縣の農業技師を歷任、その間支那の農業狀態を視察したりしてゐる

△

民間に下つたのは三十八年、直ちに大阪の藤田組に入り、有名な岡山縣兒島灣の埋立開墾に關與した、兒島灣は岡山を去る約三里、干潟地の埋立を行ひ千三百町步の水田を得、その水田に模範的の農村が經營してある、君はその農事經營の方面を主宰し、道路や、灌漑設備や、農家の配置やに理想的の施設を行つた、兒島灣埋立事業は未だ終らざりしも、君の親炙せし先代藤田傳三郎氏の卒去並に外に何か事情もあり、大正元年頃には辭意を有つてゐたらしい、

△

その頃東洋拓殖會社では、所有地に於ける積極的の農事改良を企圖する必要上、適當の殖產課長を物色してゐた、大正二年一月君は當時の東拓顧問農學博士本田幸介氏の推薦により、東拓技師[illegible]殖產課長として來鮮する事ミなつた、君が渡鮮の意を決したのは殖產部長の林理事——今の大阪府知事も、舊知の間だから、旁々好都合ミ思つたからでもあらう。

△

東拓殖產課長として君は大正七年九月まで勤續した、此間君が殖產上に盡した功績は、一東拓のみならず、朝鮮のために盡し盡からぬものである、大阪の堂島米穀取引所に改良鮮米を送つて、その標準米に對する格附を依頼し、鮮米の聲價を高めたのも主として君の發案であつた、東拓所有田に於ける改良米種普及可能の面積に改良種の普及を行き渡らしたのも君の力を多しこせねばならぬ、鮮米石拔きの如き、今日より見れば何でもない事だが、君の來鮮當時その實行は仲々容易ならぬ問題であつた、それを君は總督府や、軍役の意を受けて實行した、最近東拓が小作料の徵收を定租に改めし事や往年の植林事業開始、土耳古煙草や陸地棉の栽培等東拓殖產上に於ける施設改良は一として君の關與せざるはない。

五色饅頭

劍花坊

多々良の評案は專門家に任す、こして、さう云つた風に元來が同色同種の朝鮮人ミ內地人には渾て區別の出來ないものがあるから苗字なごを附けるのは何でもない木浦の人に木浦、釜山の人に釜山、永登浦のやうに、ちよつミ內地的に讀めない土地でさへも、登ミ讀めば、內地にもさうした地名が有る、無論苗字ミしても差間へ無い、四百餘年間王位に在つた李氏でも、日本に李家ミいふ苗字があることは、ツイこの間まで知事をしてゐた人だつたから、誰も知つてるだらう、さういふ風に附ければ何でも無い、朴家、魚家、金家、閔家、いづれも差閊へない、強て朴山、魚川、金井なごゝするにも及ば無い、しかし本人がしたいこいふならさせても好い、强制はいけない、安威が好い。長谷川、山縣、寺內或は宇佐川、武內、加藤なご、朝鮮で幅のきく苗字が附けたい希望の人があつたら許すが可い。

本紙定價 一部金參錢 一箇月金七十五錢[illegible]
廣告料金 五號十五字詰一行[illegible]
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之助
電話番號 [illegible]

人生は短し最良の圖書を讀め

岩波書店刊行書

カント著 文學博士波多野精一 文學士宮本和吉 共譯

實踐理性批判

定價貳圓五十錢 送料內地十二錢

"Der bestirnte Himmel über mir und das moralische Gesetz in mir." Kant

カントが近代哲學の泰斗たるは人皆知る。彼が熾烈にして莊嚴なる道德觀に發し、その根本的なる道德原理の究明に與り、此哲人の本體を觀ふは獨り本書に待つのみ。是實に近代思想の源泉也。萬人必讀の近代的論語也。カントが全哲學の歸趨此處に在り、彼が宗教道德の全觀此處に在り。今や思想と道德とを口にする人の先づ入る可きは、實に此實踐理性批判の門也。今や譯者其人を得て、此大哲が不朽の名著を我讀書界に提供し得るは我社の無上の光榮として、衷心の感激を禁ずる能はざる所也。

著譯者	書名	版數	定價	送料
文學博士田邊元	科學概論	二版	二、五〇	一二
ポアンカレ 田邊元	科學の價値	二版	一、三〇	〇八
文學博士西田幾多郎	自覺に於ける直觀ご反省	三版	二、八〇	一二
文學博士桑木嚴翼	カントと現代の哲學	三版	二、八〇	一二
帝大講師紀平正美	哲學概論	八版	二、八〇	一二
文學士紀平正美	無門關解釋	三版	二、五〇	一二
リツケルト 山內得立	認識の對象	二版	一、五〇	一二
スピノザ 小尾範治	スピノザ哲學大系（エチカ）	二版	二、九〇	一二

哲學叢書完成

編	書名	版數	著者
第一編	認識論	九版	紀平正美
第二編	最近の自然科學	九版	田邊元
第三編	哲學概論	十版	宮本和吉
第四編	論理學	十版	[illegible]
第五編	西洋古代中世哲學史	五版	[illegible]
第六編	倫理學の根本問題	九版	阿部次郎
第七編	宗教哲學	五版	石原謙
第八編	精神科學の基本問題	四版	[illegible]
第九編	數理哲學	九版	[illegible]
第十編	西洋近世哲學史	五版	[illegible]
第十一編	現代の哲學	四版	[illegible]
第十二編	心理學	七版	[illegible]

各冊一圓五十錢 郵稅各冊內地八錢

著譯者	書名	版數
石原謙 山谷省吾 共譯	[illegible]	二版
リンゼー 藤井武	ルーテルの生涯及事業	三版
宮川已作	[illegible]	
內村鑑三	基督再臨問題講演集	十七版
法學博士鳩山秀夫	日本債權法（總論）	七版
法學博士鳩山秀夫	日本債權法（各論上）	四版
法學博士穗積重遠	法理學大綱	
法學博士穗積重遠	親族法大意	四版
田中阿歌麿	湖沼學上より見たる諏訪湖の研究	
波多野貞夫	應用實驗學梗概	
林學士藤島信太郎	實用間伐法	
中目覺	[illegible]	二版
理學士阿部余四男	生命論	
理學士大谷亮吉	伊能忠敬	絕版
[illegible]	[illegible]	二版
河野齡藏	日本アルプス登山案內	五版
理學士田邊尚雄	西洋音樂講話	四版
文學士田村寬貞	ワーグナー	
阿部次郎	合本三太郎の日記	四版
和辻哲郎	偶像再興	新刊
和辻哲郎	ニイチエ研究	
魚住影雄	折蘆書簡集	
島木赤彥	切火	
茅野雅子	金砂	
野上八重子	新しき命	
倉田百三	出家とその弟子	八版
[illegible]	地を嗣ぐ者	新刊
樋口五葉	東海道五十三次（木版六十枚）	
正岡子規	仰臥漫錄（木版百四十六枚）	

漱石著

書名	版數
小說 こゝろ	七版
小說 道草	五版
小說 明暗	十三版
隨筆 硝子戶の中	十一版
漱石俳句集	五版
縮刷 こゝろ	十二版
縮刷 道草	十二版

夏目漱石絕筆（十一版）

縮刷 明暗

小型九七四頁 布製美裝 定價壹圓七拾錢 送料入

これ實に漱石先生が最後の絕筆也、先生の作中無二の長篇也、而して恐らくは又最上の傑作也。先生病根已に身に在るを忘れ、夏日の炎を凌ぎ、秋霜の冷を經て初冬の寒を迎へるの百日、筆を死の床に就けるまで倦まず、努力を傾けたり。絕筆「明暗」は先生の作品多しと雖も、先生の思想と藝術との最高の遺産にして先生を記念するに唯一絕好の書なり。

發行所 東京神田南神保町 岩波書店 電話本局 四一三一〇、四八〇〇 振替東京二六二四〇番

新時代

言論界の權威 雜誌中の雜誌

二月號 毎月一回一日發行

國際的經濟戰ご日本 神戸博士
國民思想の動搖と經濟生活の缺陷 中村孝也
時代大觀 ◇中國際聯盟ミ吾等の要求…特…德ご民主…普通選擧ご小選擧區制…憲政布かれて三十年
如何にして此民主的思潮を咀嚼す可き乎
◇危險思想の中心ごしての帝國大學 若宮卯之助
◇民本主義哺育の法 和辻[illegible]
◇靈的へ ◇民主哲士 寶瀨[illegible]
時間の解決 ◇眞の民主を求め シャール…
判檢事總捲り 高杉[illegible]
現代我國の哲學者
文展審査員
演壇上の人々
帝劇の俳優
名倫譯
小說 心の浪費者
對話 戰ひか遊びか
小說 少女
說優 Sの死
劇
文明の轉機ご宗教の任務
◇日本佛教家の奮起を促す
◇宗教の日本化
◇文化の轉機ミ宗教の再生
◇國際的懺悔
◇宗教家より政治家への要求
◇大思想大人格の人を小にするの精神
驚異の大寫樂 野口米次郎
露西亞の舞踊
聯盟退社事件
新時代社 東京芝區[illegible]

新案獨學 イロハ辭典付

鮮語自在

誰れにもすぐに間に合ひ 必ず上手になる理想的新案

著者は鮮語獨學に關し從來の所謂獨學書類と其撰を異にし…本文には國文、朝鮮文、文法、會話等鮮語に關する一切を網羅せり

ポケット形 二百頁 定價五十錢 送料七錢 小包代金引換十二錢

發賣元 京城太平通 京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）

忽五十版

平和紀念出版 無代進呈

民族の改造

修養ミ心身の健全

菊判美本約一百頁

■民主々義ご日本帝國の將來■日本民族の三大病患■精神修養ご心身の健全■世界大戰の教訓ご唯物主義者の悲哀■醫藥の力の及ばざる不治難症を根治したる實驗談數十種其他修養ご健全の記事滿載■總てこれ金玉の文字

申込殺到 先んずれば人を制す

東京市牛込區東五軒町三十一 國民修養會出版部

■品質の優良を誇る 內地炭來る

日本上等 石炭安價提供

■耐久能力に富むは內地炭に限る

多少に不拘御用命を乞ふ

京城古市町一丁目・電話長九四一・一三〇一八番

苫米地商店

第四十回帝國議會

衆議院豫算總會（三十日）
＝質問續々應答縷々＝

三十日午前十時四十分開會劈頭

▲高木正年氏（憲政） 起立海相が八三艦隊組織を發明したるは單に希望の意味と解して差支なきや海軍充實は平時にても必要なりとて海軍の計畫の不備を難ずるに對し

▲加藤海相 高木氏は余等の熱望し居るところを詳說されたり余等も此希望實現に勗め居れり相當の時期に至らば製艦及び水陸の設備に相當計畫を樹て經費を要求すべしと和す高木氏若し國防上に國際聯盟の及ぼす影響如何は我國は如何なる態度に出づる覺悟なるや現時の海軍を以て國防制限の基礎となす考へなりやと質す海相國際聯盟は今日未定の問題なり豫想を以て計畫を樹つる能はず既定の方針に依りて進む外なし海軍充實に就ては既に聲明せりと應答す終つて

▲川口木七郎氏（國民） 起立近來郵便電信事務の停滯甚だし集配人其他に手當を支給し居る如くなるも不充分なり之が改善策を講ずるの意なきや之に對し

▲野田遞相 四百三十萬圓の手當給與の結果今日にては餘程改善されたり通信事務破壞されたりとは何等かの誤りならん之れに對し川口氏尚實例を擧げて通信事務の不敏活を述べ當局の辯明を求むと迫ら遞相之に答へて曰く余が就任以來通信事務は前述の如く確に改善されたり通信事務の破壞さいふ丈けは罷めて貰ひたしこ遣ぶれば滿場爆笑す次いで川口氏と遞相との間に二三の問答あり遞相は昨日佐々木平次郎氏の沿海州航路開始に關する民間の希望に就き答辯を補足す川口氏更に小學校、國語を課するに就き如何なる意見ありやと問ふ文相當分之を課せずと答へ次に土屋淸三郎氏（政友）國民衛生に對する當局の所見如何と質せば

▲床次內相 衛生中樞機關設置に關する建議に對しては目下當局に於て考慮中なりと答へ土屋氏更に流行性感冒に就き傳染病研究所の爲す無きを攻擊し內相との間に二三問答あり正午休憩に入る

午後一時二十分再開土屋淸三郎氏（新政）起立朝鮮總督府モルヒネ拂下げに就き辯難するところあり之に對し下村民政長官は決して失當に非ずと答ふ土屋氏更に外科會に就て精細の質問を爲さんと質問を保留す次いで

▲森田茂氏（憲政） 日本海橫斷航路問題に就き質問す之に對し高橋藏相は舞鶴開港は海運當局と協議中にて言明するを得ずと答ふ

▲田中陸相 舞鶴要港將來の施設は海軍と共に協議せんとすと述べ加藤海相は舞鶴開港は海軍としては反對なりと答ふ次いで

▲野村嘉六氏（憲政） 起立昨年米騷動の際軍隊出動せるが其數幾何なりやと問ふ之に對し陸相は調查の上回答すべし又陸軍人員表の公表は豫算案の說明上餘儀なく公表せりと答ふ野村氏更に地方長官權限擴大の程度に就て質すや

▲床次內相 權限擴大は手續きを省略したる次第なるが如何なる程度に省略すべきやは目下地方長官に照會中なりと述ぶ（東京特電＝以下夕刊へ）

◇露國及支那に對して領土的野心無し
牧野特使路透通信員に聲明

牧野男は路透通信員に聲明して曰く『日本は露國の秩序回復を圖る外內政に干涉するの意無し西伯利に在る守備兵は聯合國の利益保護の爲め必要とする以外大半を撤退せしめたり又日本は支那に對しても領土的野心無く寧ろ支那の政治、領土上の保全を支持せん事を契ひ誠實なる友情を以て接し來れり講和會議に於ても日支兩國間の親密なる協力一致の必要なるを交涉す可し門戶開放機會均等を含む此一致にして完成せば極東問題は直に解決す可し』（巴里電報）

◇故ルーズベルト氏 國際聯盟是認
故ルーズベルト氏は其最終論文に於て國際聯盟を是認し差當り現在聯合國を中心とし墨西哥、支那、土耳其、露國、獨逸は之れに加入を許すも同等の地位を認む可らずと斷じ且又聯盟の警察權は米大陸、歐洲、亞細亞各別に其地方文明國をして行使せしむ可しと論じたるが右ルー氏の說は政府筋にても同感にて現にウイルソン氏は近く米國の聯盟案を公表す可く右米國案なるものはルー氏の說に近く即ち米大陸に於ては合衆國歐洲にあつては歐洲諸國亞細亞に於ては日本に各國際警察權を與ふ可しとの趣旨なりと洩し居れり（紐育電報）

◎獨逸陸軍移動
國民議會選擧の終了に伴ひ獨[illegible]東方面及北方面[illegible]帥本營は一月二十四日コルベルク（ステッチン東北方）に移り其の[illegible]イルシユ元帥にして其の參謀長は[illegible]兵大將ロスベルグなり從來[illegible]麾下に左の二軍を配屬す▲北方軍は司令官は大將オッド[illegible]スラウに在りしも之れ亦何れにか移動せり[illegible]

大阪三品
三十日前場 六月物寄附 三百二十六圓五十錢

兵庫期米
三十日前場 寄付 値 [illegible]

仁川期米
[illegible]

仁川米豆取引所
三十日の二月限 [illegible]

◇獨植民地管理問題
獨逸植民地に對する米國の態度は英國が獨逸植民地管理者たらんとする計畫に贊同する欲せず寧ろ國際聯盟に委ね之をして評議の目的たる領土の管理を委託せしめん事を期するもの、如し又ウイルソン氏も之等舊獨逸領土を今直ちに之れを求むる英國に與ふるには率直に反對しつ、ある如し（紐育電報）

◇四國意見一致か
國際聯盟に對する英米意見の相違は究極些細の點にして意とするに足らずと而して英米兩國は同一の原案に從ひ聯盟の基礎根本に就き協議中にして佛伊兩國亦之に協力し居れば聯盟特別委員總會が蓋を開くるの日には委員の意見大體一致を見るべしと信ぜらる（紐育電報）

◇講和條約締結期
聯合各國間には三月下旬講和條約調印の運びに至る可き用意あるを以て曾て豫定通の進捗せば四月上旬獨逸委員を招致して講和條約を締結するに至る可しと傳らる（巴里電報）

◇前獨帝流謫提議
佛國參謀本部は前獨帝及皇太子を初め男子の家族全部をアルヂールに流謫せしむ可しとの提議を講和會議に提議す可しとの說あり（巴里）

備考 アルヂールは阿弗利加北部アルゼリヤの首府人口十五萬一千[illegible]せち、海岸の眺望佳にして銀色都の名あり

◇支那代表者招致
支那代表者は二十七日午後最高講和會議代表が獨逸植民地問題に關する意見交換中議場に招致され意見を述べたり尚支那は顧維鈞氏を國際聯盟委員王正廷氏を水路、鐵道委員に任命せり（北京電報）

◇移民禁止法案可決
米國下院移民委員會は講和條約締結後四箇年間一般移民の入國を禁止する法案を取敢ず可決せり（華盛頓電報）

◇支那 東鐵管理抗議
共同管理參加を申出でん

支那政府は二十七日附を以て日本に對し東淸鐵道は支那の主權の下にあるに拘らず支那に諮らずして猥に外國が之を管理せんとするは無法なり該鐵道管理權は當然支那に屬す可きものなりとの抗議を提出し之に對し日本は該管理問題は英米佛と交涉中に屬し未だ決定に至らざれば回答の機に非ず將來決定の上支那の意見を聽取す可しと回答したる由尚支那側は前件の抗議が滿足なる回答を得ざれば共同管理に參加を申出づ可しとの說あり（北京電報）

◇元過激派蹶起
其筋著＝十八日タシケント（中央亞細亞トルキスタン總督府在地）及び其附近に元過激派軍執政官たりしダンボフを首領とする反革命騷動起り同地附近の軍隊並に革命軍之に呼應して蹶起し過激派首領株を悉く殺戮し其政權を收め建國大會の召集迄は軍事裁制を布く事を布告せり（東京電報）

◇孟督軍彈劾事情
北京陸軍部より非行調查官派遣＝張巡閱使の調停運動

孟吉林督軍が北京に於て參議院の彈劾を受けつ、あるに就ては近來の官銀號の借款督促厳重にて之が出資を受け居れる銀行業者の反感を受けたると昨年新編成の吉林第一師團が北京陸軍部の承認無きに拘らず軍備不足の口實にて官銀號に命じ新貨五百萬元を發行せしめ其爲め現今の小洋及び

△官帖の暴落 を來せしとの說あると更に又孟督軍が劉財政廳長と共同し管內各官銀號に命じ官帖の先物買を爲さしめ八千萬元を儲け其利得を分配せし事判明し商務會の問題となり代表者を北京に派遣せしとの噂あり又數月前より伊通、磐石等の各縣農民に對し孟督軍の命なりとて雜穀、秣、馬等を徵發的に買收するより住民困難し北京に陳情せりとの說あり此等原因にて問題惹起せしものならんが北京陸軍部にては孟督軍非行調查官袁、范兩氏を派遣せしに奉天張巡閱使は孟督軍に同情し巡閱使衙門顧問を

△調停の爲め 同伴せし

◇伊藤公通過
李太王殿下葬儀掛式部官岡田平太郎氏は三十日午後四時東京驛發渡鮮ヽ大磯別莊滯在中の伊藤式部次長は同日午後九時十分發渡鮮の途に就けり（東京特電）

◇駐日佛大使著期
駐日佛國大使バプスト氏は二月十五日南京號にて桑港發三月六日夜橫濱著の筈（東京特電）

◎食糧充足方策（一）
京城商業會議所にては客年以來勃發したる食糧問題に關し最近鮮內に於ける研究中なるが之れに據れば現在に於ける我國の人口增加率と食料の收穫高との比例は正に彼のマルサスが喝破したる狀態を釀し來り此儘に放任する時は數年ならずして勢の赴く所寒心すべき結果を生むに至らん之れを純經濟論より見れば現時行はれつ、ある世論の如く一面には

▲食糧輸入の途 を開き一面には米の節約を計るの外なからん而して內地に於ける米不足の程度は平年作にして少くとも六百萬石以上なりと稱せらる內三百萬石を朝鮮より補充するとしても殘額三百萬石を如何にして充足すべきや勿論其の大部分は輸入により之を補ふべしとするも內地は目下年々七十萬人以上の人口の增加を見つゝあれば六百萬石の不足は軈て一千萬石二千萬石の不足となるべく之を以て輸入のみに依頼せず產米の增加を圖ると共に他に節約法を講ぜざるべからず而して其第一案は

▲日本酒の節減 なり然るに近時農商務省は再び酒造米を用ひて內地米同樣の淳良酒を釀造し得ることを發表し其の奬勵を講じ居れども之れとても要するに姑息の手段と云ふの外無く只乙を以て甲に代ふるのみにして不足米の數量を減ずる所以にあらず若し有効に釀造米を節約せんと欲せば米を原料とせざる酒例へば燒酎の如き麥酒の如き葡萄酒の如き物を奬勵するの外なし此方法は假令絕對的ならずとするも次第に此風習を馴致し得べきは想像するに難からざる所なり（京城商業會議所調查）

◎出征部隊整理
歸還と指揮權

▲兵員整理 西伯利に對する政府の方針が將來の軍事行動を顧慮して現在占領區域內に局限し積極的に激變なき限り今日以上の軍隊を動かすを執らざるに內定せる係上一月中は第一期歸還部隊[illegible]撤退を了すべき豫定の兵員約一萬[illegible]撤揚の準備中にして二月中旬迄に[illegible]四千乃至[illegible]守備の任に服する兵員は約二萬五千乃至六百名に過ぎざるに至れる[illegible]殘留部隊をも今後根本的に整理すべきや否やに關しては目下政府及び軍事當局間に於て討議中なり

▲指揮統一 又八月以來逐次出動せる第十二第七第三及び第[illegible]部隊派遣隊等は外交上の複雜なる關係及び其任務を異にせる結果從來は全然指揮系統を異にし大谷大將の下に統一せられ居らず

しが今や單に警備の態勢に移りたる上は軍事行動統一の必要增大し對外的に誤解さるゝ虞なきに至れるより今後は極東の軍事行動地域內に於ける我軍の行動並に之に關聯せる政務及び運輸交通に關する一切の事項は浦鹽派遣軍司令官をして統轄せしむること、に決し最近第三第七師團長隸下の諸部隊南部烏蘇里派遣隊及び野戰交通部は等しく大谷司令官の麾下に配屬せられ從來活動中なりし關東都督は其官制に基づく固有の任務に服するに至り北滿に於ても出征軍とは直接の交渉なきに至れりと

◎鮮農滿蒙移植策（五）
滿鐵地方課技師 櫻井初郎氏談

滿洲移住農村落民の必要品は出來る丈自給自足の工夫が必要である村落の位置は多くの場合市場を遠ざかり需要品の不足を免れざるのみならず又村民は少からず移住資を消費し

▲多額の借金 を負ふが故に彼等は當分の間殆ど臥薪嘗膽の覺悟なかるべからずされば衣食住共各自家用品は各自家にて生產し生產し得ざるものは同村內にて生產し村內にても生產し能はざるものは餘儀なく之れを市場に求むる事とすれば其の量は極めて少額に止まる事が能きる又植民村落は何時か社の手を離れて獨立すべき時期ある事を忘れてはならぬ村落獨立の後は即ち個人的負債の返濟と共に

▲團體的負擔 の加重を覺悟せざる可らず就中學校、寺院其他の公共建物の如き又は從來社より融通せし產業資金の如き皆自ら之れを負擔せざる可からざるに至る乃ち普通基本財產の積立の外に村落の公共資金等を要する時あるべきを期して之れが積立に努力する事を要する村落の社會的施設としては衛生或は普通教育を催して長幼自ら序ある事を悟らしめ、戶主會婦人會を開いて協同一致の風を養ひ青年會少女會を催し敎道訓育するが如きは新部落に於て宜しく行ふべきものである又

▲自助の精神 は自治的團體の根源である殊に遠く故鄕を離れ不見不知の他鄕の寄合部落に介在し一朝不慮の災難に會せんか其の困難苦痛推測に餘りあるものである故に平常勤儉力行相勵みて獨立自營の覺悟が必要であるが又共濟の溫情は自治的部落の美德である災難疾病等に際し隣保相助け一家の觀ある如くしたいものである之れ村落は自助共濟の目的を以て每年基金の積立を要する所以である又村民村落は恰も

▲海中の孤嶋 の如きものである故に常に見聞の新しきものなく自ら日進月步の文明に接する事を得ざるを以て村民を敎導化育し向上の氣風を養ふ目的を以て經濟の許す限り（一）簡易圖書館（二）陳列所又は展覽會（三）簡易講習會（四）自治講話又は農談會（五）實業傳習會等の開設を要する、是等の內創業費の稍多額に上るものは會社がこれを補助する事を要する植民村落に娛樂の必要なる事は世上普通に必要とする理由以外に

▲特殊の理由 あるは茲に說明する迄もない然るに植民地の娛樂は動もすれば淫靡に流るゝ處あるが故に之れが採擇は最も注意を要する近年列國の娛樂に對する思想は慰安に加ふるに更に薰陶を以て目的とせんとする傾向がある又勤勞なき娛樂は民風頹廢の基なりと力說する者もある之等は或は農業植民の新村落に臨むには聊か理想に過ぎる感なきに非ずと雖も例へば子女に課するに學校園又は盆栽を以てするが如き又壯者に課するに牛馬耕又は緬羊

▲剪毛の競技 を以てするが如き一般農家に課するに作物、家畜又は動物管理の品評を以てするが如き等之を娛樂的に實行し、薰陶を兼ねしむる等各其民度に由り斟酌し採擇すべく必ずしも遽に此れを追ふべきものではない以上は內地及び鮮人農家の滿洲移植に就きての私案の一班である經世家の一粲を得ば幸ひなり（完）

◎公會堂財源
京城商業會議所にては既報の如く大正八年度歲入出豫算を決定せるが之と同時に公會堂兼用同所事務所新營に關する建築費も當然決定せる譯なり即ち其內容を見るに公會堂建設の工事費は總計十二萬五千圓にして其財源には豫て商業會議所事務所建築費として每年積立てたる積立金及七年度に於ける剩餘金合計二萬圓、寄附金の七萬五千圓、會議所借款の三萬圓を以て之れに當つるものにして來る三月迄即ち七年度に於て建築材料其他の購入に支出すべきものは前記積立金及び剩餘金合計二萬圓中の一萬二千四百八十三圓を計上せり依つて同所が大正八年度に於て公會堂兼用同所事務所建築費として豫算に計上せるものは十一萬二千五百十七圓にして七年度支出金を併せ總工費十二萬五千圓を算す而して會議所が八年度に於て借款すべき借入金三萬圓は本年九月頃に公會堂工事の進捗を見計らひ利率年八朱の割にて一箇年元金据置後九箇年償還の方法を採るべしと

◎鮮銀券發行稅額
朝鮮銀行券は昨年末膨脹を爲せる結果同年十一月二十九日より限外發行の已むなきに至り既に二千萬圓を突破せんとするを示したれば十二月中に於ける限外發行稅を三萬七千二百九十二圓納付せるも米引續き限外發行を維持しつゝあれば今後尙數箇月巨額の納稅をなすに至るべく限外發行稅率は二千萬圓迄千分の六の規定なりとす

◎鮮鐵石炭輸送
京城管理局にては來る二月一日より當分の內草梁、大田、木浦、仁川、新義州荷扱所安東發石炭を左の通り輸送す可しと

▲草梁荷扱所より大邱機關庫へ每日五車大田機關庫へ同七車馬山分庫每日一車裡里機關庫へ同一車松汀里分庫へ三日目一車

▲大田荷扱所より木浦機關庫へ三日目一車

▲木浦荷扱所より松汀里分庫へ奇數日一車

仁川荷扱所より南大門機關庫へ每日五車[illegible]分庫へ奇數日二車偶數日一車[illegible]機關庫へ偶數日一車[illegible]給水所に五日目一車

▲安東より各驛へ每日七車等なりと

◎府組合豫算編成
京城府にては目下府並に組合豫算の編成中なるが兩豫算の編成完了は二月中旬以後なるべく兩豫算中歲出の主なるものは府にありては下水工事と電車增設と之に亞ぐは衛生費の自然增加にして又組合豫算としては元町小學校增築を最とすと

◎蠶種講習會
忠淸南道の蠶業は年と共に發達し大正七年に於ける蠶種掃立枚數三萬二千四百餘枚收繭高六千二百餘石價格四十四萬四千餘圓に達するの盛況を呈せり道は所要蠶種の自給改善の計畫に基づき大正三年以降年々道の蠶種製造所に於て製種講習を行ひ蠶種製造者の養成に努め大正七年迄に六十名の修了生を出し又蠶種製造業に從事し成績頗る見るべきものあり且年々一般蠶種の講習を行ひ技能の向上に努めつゝあり、本年も二月十八日より二十四日迄一週間蠶種製造講習會を開催し主として新品種飼育、採種法に付講習計畫にて講師としては總督府水原蠶業試驗所技術官の派遣を求め道技術員及び原蠶種製造所職員之れに當るべしと

◎漢城木材擴張
京畿道高陽郡纛島に本店を置き（資本金十萬圓の內五萬圓拂込）材木柴炭の販賣を營みつゝある漢城材木柴炭株式會社は今回業務の都合上未拂込金の全部を拂込み同時に營業區域に[illegible]其の他を加へ業務擴張の件は二十七日附許可せられたり

□連絡船中より
大町桂月

拜啓二十三日夜釜山埠頭に、李王世子の還らるるを迎へまつり、二十四日朝同船にて歸路に就き申候。滿天の風雨、小生を送り申候、瓊交恰逢王子還、客衣不覺淚斑々、鯨頭回首天猶暗、寒雨蕭々滿韓山。

人
▲高[illegible]章之助氏（辯護士） 公州に出張中の處廿九日夜歸城
▲境野定胞氏（銀行員） 三十日夜入城平壤へ
▲岡田重二氏 ▲原淸次郎氏 ▲鈴木[illegible]氏 ▲水[illegible]氏 三十日夜退城

鳥瞰錄
▲ヤレ露國ソレ獨逸と過激派が荒れ廻つて居るが何だか巴里もソロ／＼物になりかけたらしい▲何でも物價は目玉の飛び出る程跳ね上がり旅館などは全く不足で人々は閉口して居る▲其處へ以て地下鐵道や電車の係員は頑固なるストライキをやると云ふ有樣▲各停車場は軍隊が警衛し警察官は運轉手を保護してやつと僅かな電車が動いて居ると云ふ事である▲之れも講和會議のお蔭かも知れぬが例の毛蟲の樣な過激派は目を皿の樣にして眺めて居る事だらう危險々々▲だが講和會議の開會のお膝元であるから大丈夫だらうと話して居たらお隣の大津邊にも物騷な秘密結社が何時の間にか出來て居るらしい▲彼等が支那へ喰ひ込んだら又一と騷動持ち上がるかも知れぬ北方も南方も早く內輪喧嘩をやめて大いに注意せなくては大變になりはせぬか人事ながら心配する▲日本は此の相場が起つて第一番に元の木阿彌に返らんとして居るのは貿易業者と船舶會社らしい▲殊に船舶會社とては大分慘めで郵船、商船、東洋の三社すら運賃を下げても荷が何を配して居る▲保險も木造船ではこはらる、し船株もグン／＼下る基礎の確かりした會社なら兎も角▲所謂濫れで成金の來ては一時中に生れた會社と來ては一層慘めである▲全盛時代に五十圓を突破した二十五圓拂込の神戶の某船株なきは來月拂込十二圓五十錢を目前に控へて居る加減かも知れぬが▲前期一割二分の配當をしてゐるに拘はらず一圓五十錢とはなさけない▲之れが先づ慘めな筆頭らしいがまだ三圓、六圓、八圓などゝ唱へて居るものがあるから危ないものだ▲驕る平家は久しからずで一時の成金風に社會を驚かしたのも束の間夢がさめると頭痛鉢卷こはお氣もじさま

公示催告
京城府本町一丁目四拾七番地 申立人 インゲレッシー商會 [illegible]
京城地方法院 大正八年一月二十八日

商業登記公告
[illegible]
京城地方法院

生徒募集
本年四月入學セシム可キ本校第一學年生徒四十名 [illegible]
水原農林專門學校

購買入札
大正八年[illegible] 朝鮮總督府

購買入札
[illegible] 朝鮮總督府警務總監部

生徒募集
入學出願期日 [illegible] 入學試驗期日 [illegible]
京城專修學校

購買入札
[illegible]
朝鮮總督府遞信局

◎生徒募集
本年四月入學セシムヘキ生徒約百名[illegible]
大正八年一月
京城中學校 釜山中學校 平壤中學校 龍山中學校 大田中學校

購買入札
朝鮮總督府

◎寫眞を寫す人は見落す勿れ
□出張撮影寫眞料
[illegible]
京城本町一丁目五十一番地
富田寫眞技術所

第拾壹期決算公告
[illegible]
大正八年一月
株式會社 京城銀行
頭取 中村再造
取締役 山口太兵衛
同 古城菅堂
同 和田常市
監査役 古城梅溪
同 梶原末太郎
同 秋吉富太郎

最上清酢
植山本家
京城本町 三矢酢造場 電話[illegible]

▲債券▼
關東都督府認可
公債債券月賦販賣
大連市[illegible]
大連債券株式會社
公債債券 賣買
營業案內無代送呈

▲債券▼

……に對し……歩兵大將ゼークトなる從來ケーニヒスベルグに在りしも最近何れにか移轉せり又南方軍司令官はウオ……進捗せるに至り……の從來カツセルにありしも……にはアルケン、ハインの第十軍……あり同軍は目下グロドノ附近に配置しありと……(共勝來電/東京)……大本營(ヒンデンブルグ元帥)

○尊き御靈骸を漆黑の靈柩に下げ奉る

奉下梓宮の式

各殿下の御愁嘆は更に新たなりしと拜承す

李太王殿下の御靈骸は既に殯殿に奉安せられ今は唯御葬儀を待つばかりであるが愈御靈骸を殯殿に奉安するまでには沐浴の式から小斂、大斂、奉下梓宮など種々の御儀が行はれたのである、是は其都度本紙の報道した通りであるが其儀に更に承はるところに依ると廿六日を以て行はれた奉下梓宮の御儀こそ

此上もなく悲痛

を極めたものであつたと云ふ、今其光景を寫すに方り順序として先づ廿五日の沐浴の式から記す事としよう、沐浴の式と申すのは一種の香木を煮詰めた香の高い湯を以て御全身を拭き參らすと云ふのであるが愈定刻になると奉仕の女官は靜に御靈骸の御側に進み寄つて李王殿下を首め御近親の御臨よりも繁き涙の裡に寢宮御寢用からせられた御召物を撤した、一枚……二枚……御上衣……御下衣全部撤して了ふと直ちに玉洋木と云ふ清淨なる白布を蔽ひ參らせ前の手拭を香木湯に浸しては御肉體を殘る隈なく拭き取つた、此時女官は

御靈骸を眼の下

に拜する事となり斯くては餘りに恐れ多いと云ふので兩眼を固く鎖し白布の下に手を差し入れて是を奉仕したのである、沐浴の式は是で終り引續いて小斂の御儀が行はれた是は新に召物を御著せ申す事を指すのであつて奉仕者は閔泳琦男、閔泳徽氏夫に羅瑨、李秉輝と云ふ兩人の役目である、先づ上下の內衣を著け周衣を著せ其上から戰服(普賢の時著たもので陣羽織のやうなもの)を著せ其上から更に黃龍袍と云ふ古式の正裝を著け參らせた

次ぎに廊を以て

御靈骸を七つに御括り申上げ茲に小斂の儀を終つたが御靈骸を御括り申上げたのは御召物が餘り多く兎もすれば脫落するので是を防ぐ爲だと云ふことである小斂の儀を終つた御靈骸は其翌日即ち廿六日を以て大斂の儀を行はれ御全身は雪の如き眞綿を以て厚く包まれた上更に麻と紺を以て幾重にも包まれた、如何に考へても此中に御靈骸があらうとは思はれぬ程である、大斂の儀に次いで奉下梓宮の式が行はれた、梓宮とは靈柩を指す、即ち御靈骸を靈柩に下げ奉る式、內地流に云へば入棺式が行はれたのである、靈柩は是まで東大門外中央試驗所附近の長生殿に置いてあつた、此長生殿は專ら

王公族の靈柩を

司るところで毎年春と秋には保管の靈柩に純番產の漆を塗るのであるが李太王殿下の靈柩は今から百二十年も前に製造されたもので漆を塗る事實に千數百回、從つて漆の厚さだけでも二寸五分からある、靈柩の大きさは長さ六尺幅二尺二寸高さ三尺と云ふから漆は內外共に塗つてあるので色は漆黑である、王者に適はしき黃金色など傳へられて居るのは皆誤である

……へば永遠に幽明境を異にし玉ふ事になるので各殿下の御愁嘆は一しほであつたと拜承する、然れど蓋は終に宦官の手によつて固く堅く鎖された、そして蓋の上部(御頭の方)には朱肉を以て『上』と記された、最早如何ともする事は出來ないのである、殯殿に奉遷されたのは其翌日の事で本來は是より前に『トンビ』と云つて河獺に似た皮を以て靈柩全體を蔽ふのであるが、是に何うしても一萬五千圓は懸る相である、然し今は何處を出しても此『トンビ』が手に容らぬので靈柩は其儘になつて居ると承はつた

祭祀工事

一月卅日より進行

李王職に於ては一月卅日より左記の擇日に依りて祭祀工事を進むべき豫定なりと

金谷御墓所擇日

▲一月卅日午後四時、斬草破土、始役、山神祭
▲二月六日午前六時、作靈家
▲同十二日午前十時、開金井穴深八尺三寸、用營造尺
▲同十六日午前八時、取土丙王方
▲同十七日午後四時、下外梓宮
▲三月二日午前六時、啓梓宮
▲同三日午前六時、周堂祭
▲同四日午後十時、下玄宮

洪陵遷奉擇日

▲一月三十日午後四時、破莎陵、祀後土告事由
▲隨日時　作靈家
▲二月十二日午前六時、出玄宮
▲隨日時　遷殿成殯
▲同　啓梓宮
▲同(十五日か)　進發
▲同　到山陵、成殯、啓殯
▲二月十六日午前八時半、啓殯
▲同午後二時、下玄宮

燭光夢の如く輝

循て奉下梓宮の式は午後七時から行はれた、既にして萬端の御準備整ふや御靈骸は閔泳琦男以下宦官の手によつて靈柩に移された……くところ新なる哀しみは湧き溢り一齊に面を掩うて慟哭す、光景頗る沈痛を極め世界の悲劇は此處のみとこそ拜せられた、斯る裡にも奉仕の諸員は靈柩の隙間に綿、絹、綛子などを詰め込める丈け詰め込む、今は早蓋をするばかりとなつたが愈蓋をして了

○李王殿下御感謝

兩院の深厚なる弔問に對し

大勳位李太王殿下薨去に付貴族院及び衆議院に於て深厚なる弔意を表したる旨原內閣總理大臣より李王職長官に傳達あり閔長官は直ちに此旨李王殿下に言上申上げたるに殿下に於かせられては兩院の厚意に對し深く感謝せられたるより閔長官は其旨原內閣總理大臣宛電報を以て挨拶をなしたり

○講和使節に後援を……

頭山滿氏等の發起で相談會

頭山滿、海軍中將上泉德彌兩氏の名義で催されてゐる講和問題下相談會は今回の講和會議の如き空前絕後とも云ふべき大問題を講和使節に一任して顧みないのは國民の

▽**無氣力** を表白するものであるといふ輿論に基いて起つたもので各政黨代表者、國民義會、國民外交同盟會の代表者及び貴族院の有志者數十名が會合し席上發起人決定、今後の運動方針等に就て協議を重ねる筈だと云ふが尙ほ外は歐米人が人種の上に差別を設け遇を違へるのは彼等の常に說く永久平和の

▽**趣旨に** 矛盾するといふ斷論から大に輿論を喚起するといふのである、右に就き東亞同文會の田鍋安之助氏は語る『之れから發起人を決めて打つて出ようといふ譯で具體的に何にも定つて居ない講和使節が如何に全力を盡しても其背景たる國民の後援がなければ充分の效果は擧がるまいと思ふ故に鞏固なる

▽**後援的** 大團結を設立する積りで起つたものが本會である學者、政治家、浪人各方面の人々に依つて皆つて發起人を選定し其發起人會を開いた後堂々と打つて出る筈です』と(東京)

○不思議な廻り合せ

故李太王殿下豫じめ萬歲の期を知り給ふ

故李太王殿下が御賢明であつた事は中外等しく何人も知る處であるが今回の薨去に就ても思ひ出さるゝは殿下の聰明は既に昨年より本年に掛けて特に御身體に御注意を拂はれて居た事であつた然るに急性の腦溢血であつたから致方もない次第である殿下が昨年から今年を非常に

◇**御懸念に** なつて居たと云ふのに就ては斯ふ云ふ話がある昨年殿下が痔を病まれて手術を受けさせられた時其の翌日御親近の某貴族に『自分が歷史を調べて見ると今を去る六十年前の巳の年祖父に當る純宗大王の時

◇**大造殿が** 出火し其翌年の午の年痔を病まれたが當時は無論文明の醫藥もなかつたから遂に其の爲薨去せられた處が夫れから六十年後の巳の年に又大造殿に出火した(一昨年の昌德宮大造殿の火災を指させらる)而して其の翌年の午の年(即ち昨年)に

◇**自分も亦** 痔を病むことは洵に歷史を繰り返す思ひがしたが幸ひにも今日文明の醫藥の爲に全く苦痛を去つて全治したのは愉快な事である』と仰せられたお話がまだ耳底に殘つて居る今回の御不幸にも其の痔が遠因をなして居りはせぬかと思ふと益々其の御先見には恐懼せざるを得ない(某貴族談)

○成瀨氏引退

後任麻生學監

女子大學校長なる成瀨仁藏氏は病氣の爲め引退し廿九日告別式を爲し後任は同大學現學監麻生正藏氏なりと(東京特電)

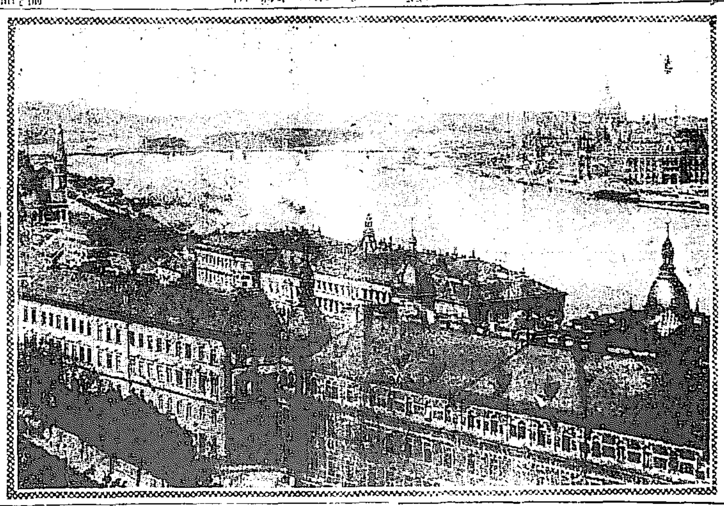
○砲兵工廠の大擴張

京城に一大兵器製造所設置か

歐洲戰亂の結果我國兵器製造機關に大影響を及ぼし來りしに鑑み築地に東京砲兵工廠にては近藤鈴村兩砲兵中佐をして親しく歐洲各國の

◇**兵器** 製造工場視察をさせたが愈東京砲兵工廠の大擴張を行ふことに決定し緊急豫備費を支出し既に一部工事に著手した東京本廠は地域狹隘にして擴張の餘地がないから北豐島郡王子町字十條なる銃砲製造所、板橋及び目黑の火藥製造所並に熱田兵器製造所共各五十餘町の隣地を買收し

◇**本廠** の小銃及び砲具製造工場は十條に移轉し殊に熱田では專ら發動機の製作をなし各所共專門的に製造工場を分立する筈又は京城附近にも約百萬坪の敷地を得て一大兵器製造所設置に決定し各所は共に地均し工事に著手し而して大正九年十月頃には全部出來る筈にて竣工の曉には在來の製作能率の約三倍に上ると(東京)



▲匈牙利の首府ブタペスト市

○[illegible]劫盜か

商人風を裝ひ忠南北を荒す

二十三日午後九時頃淸州面南町七番地……數犯なる吳在田の入口に……周衣等に下共點々附著せる點より察すれば彼等三名は各地に於て掠奪强盜を働き巧に商人風をなして其所在を晦ます惡漢ならんと目下取調中(淸州)

○下關港外で汽船沈沒

名古屋市原瀨商會主所有木造船ふさ丸(五百六十八噸)は鐵材九十噸を積載し釜山に向ふ途中二十五日下關港に碇泊し三十日午前同港を出帆せんとせしが同船長が舵機を誤り爲め港外彥島の東南沖合にて大連より愛知縣豐竹港に向ふ途中同所に假泊し居たる三菱物產所有汽船須磨丸(二千百七十七噸)と衝突し直に沈沒せり幸ひに同船員二十八名は無事なりしもふさ丸の損害は船體船具約三十萬圓積荷十萬圓の見込なりと(門司)

……を擴へ內房にありて密々囁き合へる者あるより不審を抱き西田刑事は現場に踏込みしに主客狼狽の色をなし擧動怪しきより其住所姓名を名乘らしめたるに言語を曖昧にして巧に現場を立去らんとする一應不審に思つて取調べたる處自稱忠淸南道論山郡……甲某外……賭場を開き……名の賭博者を……所持金……人には……名にして某食店に潜伏せる……人の自白により同時に連行せり……

外遊の思出

二十年前の歐米各國(上)

貧乏世帶をしてゐた日本領事館

京畿道長官　松永武吉氏

何しろ二昔も前のことだから記憶が茫乎として居るよ、最初の洋行は何でも明治二十八九年頃だつた恰度日淸戰爭當時で我輩はまだ一省の參事官で居た頃匈牙利の首府ブタペストで開かれた萬國電信會議に出席したのが第一回の洋行で其後二三年を隔て二回に亘り

▽**佛蘭西に** 行つたことがある。此の前後三回の洋行で西班牙、葡萄牙を除いた外は歐米諸國に足跡を印したわけだ。ところが何れも官命を帶びて行つた旅行だから餘り永逗留をするわけにも行かず隨つて面白い思ひ出と云ふほどの事もない。唯二十年前に於て見た歐米各國の印象を今日の歐米各國に結び附けて見れば多少の興味が湧いて來る。我輩が

▽**一番永く** 逗つて居たのはブタペストだつたが何しろ此時代までは日本と云ふものゝ存在が殆ど認められて居なかつたので日本人は何處の國に行つても支那人扱ひにされたものだ。それも無理からぬことで其時代の日本公使館は英、佛、伊、墺、獨、米の諸國に在るは在つたが一向に威勢が上がらず貧乏な世帶をして居たものだから日本からの留學生其他の生活や待遇も推して知るべしで

▽**米なんか** 碌に食へず饅飯なぞと來たら破天荒な御馳走だつた。勿論留學生と云つてもブタペストなどには殆ど居なかつた……新聞記者として宮月小太郎君と朝比奈知泉君がバルカン方面の研究に來て居た位だつた。

×　×　×　×　×

バルカン地方と云へば昔から歐洲各國の國際關係の禍根となり現に今度の世界大戰も塞耳維を中心として一波萬波を生んだことは誰でも知つてゐるが其時代も矢張り

▽**小競合ひ** は絕えず行はれ夫に露西亞、獨逸、佛蘭西等の强國が後楯となつて各々好きな小國を味方として喧嘩を嗾しかけたものだ。即ち塞耳維は露國に結び獨逸が土耳古方面に手を伸ばしかけて居たことなどは事實として萠しかけて居た。其中に在つて其實力で一番組織が完備して居たのは羅馬尼であつてバルカン諸邦中に雄視して居るの觀があつた

○各中學校生徒募集

京城、龍山、釜山、平壤、大田の各中學校にては本年四月入學せしむべき第一學年生徒を募集せるが入學選拔試驗期日は各校とも三月二十三日、二十四日、二十五日の三日間とし受驗者は準備の爲め三月二十二日左記の時間に當該學校に出頭すべし

▲京城中學校午后二時▲釜山中學午后三時▲平壤中學午后四時三十分▲龍山中學午后二時▲大田中學午后二時

募集すべき人員は京城約百五十名、釜山百名、平壤百名、龍山百五十名、大田百名と限定され試驗科目は國語、算術、日本歷史、地理及理科とし外に體格檢查並に口述試驗を行ふと尙詳細は當該學校又は官報に就き承合する方便利なるべし

○朝鮮內の徵兵檢查地

明治三十九年勅令第三百十八號により朝鮮にかける大正八年徵兵檢查は左記軍隊に於て之を施行することゝなれり

檢查地	檢查施行軍隊
釜山	步兵第八十聯隊(在大邱)
大邱	同
龍山	同八十聯隊三大隊
平壤	同七十七聯隊
元山	同七十四聯隊(在咸興)
咸興	同　上
羅南	同七十三聯隊
會寧	同七十三聯隊三大隊

但し釜山に於て身體檢查を受けんとするものは在大邱步兵第八十聯隊に元山在咸興步兵第七十四聯隊に願出べしと

尙朝鮮で徵兵身體檢查を受けんとするものは願書に戶籍謄本若くは抄本を添付し本年二月十日迄に正副二通を前項軍隊に提出すべく身體檢查は四月一日より同十日迄の間に於て呼出令狀に記載の日に施行することゝなり居れり尙檢查を受くる者は受檢の際自身の寫眞を携帶し檢查員に差出すべしと其他詳細の事項は本月二十七日後の官報に就き承合せらるべし

○過激派金鑛占領

一般民衆は日本軍隊に囑望

……ボダイボ金鑛は數日前過激派に占領され該地方の大部分は之に合しオムスク政府反對を標榜しカンスク附近にも右同樣の暴動あり優勢にて未だ鎭壓を見ず狀況斯の如くなればイルクツクにても早晚騷擾の波及を豫期し目下オムスクに增援軍の請求中なるもイルクツク軍隊は頗る心細きなるは唯だ士官學校及生徒にて一般民衆は日本軍隊に對して囑望し居れりと(東京特電)

○全鮮で十四萬

惡感冒で死んだもの

昨年十月以降發生した流行性感冒は一時非常の猛威を逞うし人心を寒からしめたのみならず地方經濟に及び產業上にも尠からぬ影響を及ぼした本病は地方に依りて發生時期に多少の遲速はあつたけれども大體に於て十月中旬より發生し十一月の中旬に至りて

◇**君の威** を振ひ十二月上旬に於て漸く終熄したが恰も此期間は農作物の收穫期だつたので農家に非常の打擊を與へ收穫並に調製に遲延を來さしめ延いて市場は穀物の出廻り少く一般の取引は一時不振の狀態に陷り又各種工場に於ては職工の罹病者多かりし爲め製造力に多大の打擊を及ぼしたやうである今全道に於ける流行性感冒患者及び之に原因する死亡其他に關し警務總監部

◇**衛生課の** 調査する所に依ると患者總數七百五十五萬七千六百九十三名、死者十四萬零五百二十七名といふ驚くべき計數を示して居る之を男女別に見る時は患者に於て男三百八十八萬三千三百十七名、女三百六十七萬四千三百七十六名、死者に於て男六萬九千六百二十三名、女……名となり之を

◇**各國人に** 見る時は內地人患者十五萬九千九百十六名、死者一千二百九十七名、朝鮮人患者七百三十九萬一千四百十五名、死者十三萬九千百三十七名、支那人患者六千七十九名、死者九十三名、外國人患者二百八十四名となつて居る

○抱川郡の虎

鮮人傷けらる

京畿道抱川郡加山面……(三三)が去る廿三日午後三時頃同面南方竹葉山栗林に於て採木中ふと前に當り長五尺餘の猛虎が咆哮しながら今にも飛び掛らんず勢を示し居るにぞ……は大いに驚き傍にありたる棒を取らんとする所や猛虎は黃積に向つて飛び付き下膊を强たゝか咬付其儘姿を沒したるに付同村にては虎狩をなすべく目下協議中なりと

○鮮人の米買占

慶北

大邱に於ては朝鮮人が米の小口買占めをなしつゝあり已に三四千叺を買入れたるが買入れの範圍は今の處大邱市內のみにして買取り價格は三十七八圓なる由

○淸州の追悼會

殿妃延……

立にかゝる淸州龍華寺に於ては本月初月氏を始め附近名刹の僧侶は太王殿下御薨去當日より同寺住持が追悼法要をなす筈なるが當地鮮人の日々數百の參堂あり最も壯嚴に擧式しつゝあり(淸州)

○保安課給仕募集

京畿道警務部保安課にては十二歲より十五六歲迄の給仕募集するに付希望者は同課に申出ずべし

演藝

▲海底六萬浬

……樂館にては二月一日より向ふ三日間限り特別大興行として……(怪盜水艇)淸島劇ケリスマスの前に上場する筈なるが(怪盜水艇)は一名(海底六萬浬)と云ふキネマ界の最近の成たるユニバーサル會社が二百萬弗の巨費と二ケ年の長日月を費やして……の透明……散在により世界の驚くべき……ハマハ海底に於て……を撮影したるものにして……

○下關期米特電

三十日前場　當限受渡……二十九圓……
三十日後場(更に爆騰す)　各地人氣米著なりしも前場の新値に勢ひを得買氣旺盛し中限三十六圓二十錢……

利殖之友

事業界の將來

◇製鐵業の將來……中島東洋製鐵專務
◇海運界の將來……山下汽船社長
◇電氣業の將來……神戶東電社長
◇石油業の將來……內藤日石社長
◇金融界の將來……安田善三郎

本誌の權威

◇本誌には毎號歐米最新の利殖法揭載
◇本誌讀者は不識不知各種利殖法に通ず
◇堅實有利なる利殖法全部本誌上に在り
◇代理部は迅速誠實に現物を賣買仲介す
◇相談部は利殖者の最良最高の顧問なり

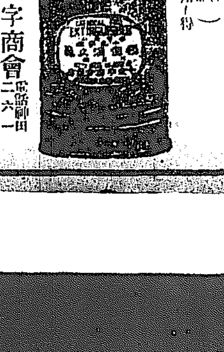
「東株は賣か買か」
◇株式界の飛將軍と記者の問答
◇民主的經營の意義　小西榮三郎
◇製絲株の合理的研究　野中眷洋
成金の妙術……桃介　福澤

◇定價　毎月一回一日發行　一部二十錢(郵稅一錢)　半ケ年(郵稅共)一圓十錢　一ケ年(郵稅共)貳圓

◇發行所　東京京橋……　利殖之友社　振替東京四二五四〇　電話京橋三三七〇

京城府明治町二丁目(本町三丁目入口)電話二七八番
內科　小兒科　チアテルミー科　入院隨意
中島醫院　(普通病室　隔離病室)　院主　中島貞信

專賣特許　十文字式消火器(宮內省及陸軍省御用品)
◇使用輕便効力偉大婦人少女と雖も直に使用し得
製造發賣元　東京神田須田町二二　十文字商會　電話神田二六一



北海道產　鴨綠江產　雜木各種　荷着
雜木各種　家具材並に洋家具の調製に應ず
雜木各種　板類　製材販賣
朝鮮京城黃金町一丁目　利本明雜木店　電話長二一七五番　振替京城五七三番

跣足袋の權威
一足の持久力
特約店を募集す
發賣元　東京市下谷區上車坂町三十六番地　東京足袋株式會社　電話下谷一四八七番
太陽護謨株式會社特約

母と子 (九十五)

北島春石作 森田久畫

悔悟 (二)

と、大人同志の話が濟むのを待兼てゐた幸枝は、いきなり直樹の肩に取縋つて『だからね、だからおぢい樣。』と、小さな息を彈ませた『わたし、今日はお父さんと御一緒にね、あのお母さんをお迎へに來たのよ。』

『うむ、お母さんをお迎へに來たか。』

『さうよ！さあ早く中洲のお家へ連れてつて頂戴。』

先刻、植惣からの話を耳に入れずは、直樹こて異存のあるべき筈もないが、今は何ごとして、覆水を盆に還すべき希望があらうか。

『幸枝！』と、その小さな手をこつて膝元へ引寄せながら『お前が……お前がさうまでお慕ひ申すお母さんは……もう現世の人でないこ諦めてくれ。』

『ぢ！何ご仰有るので。』と、雅巳は一變『萬一、自殺でも致し。』

『まづは、さうさでも諦むがしぢや。』と、暗涙を呑んで『然し、決して志保子を怨む所ではない。岸上の家から離別された後の三年間、彼女の辛酸は尋常一樣ではなかつた！假に今日仙家へ縁付いたこしても、それは彼女の罪ではなくてお前がみづからその種を蒔いたのぢや。いや、寧ろこの南三年間、あらゆる壓迫を受けながら、貞婦に見ねまじき操を守つてゐたを夫感謝せねばならん。』

『その御意見を伺ふまでもありませんが……この先、男の手一つに母なき子を抱へて何うしたものでせう。』

『もう一度繰返して言ふが、自ら蒔いた種はみづから刈るべしぢや。』

『…………』

『なあい、俺の言うた事が解つたか。』

それでも、猶無言のまゝで深き思案に囚はれてゐた雅巳は、暫くしてから暗い顔をあげた。

『僕も男子の端くれです！叔父さんの仰せ通りに、自ら蒔いた種はみづから刈るべき決心を持つて居りますが、たゞ幸枝が憫然と思召して下さい。』

『實際幸枝は憫然に思ふが……今夜から雨露をしのぐべき宿もなくなつたとすれば、お前は何う！岸上家を再興させる意か。』

『今になつて、わが娘を邪魔もの扱ひにするではありませんが……幸枝と云ふ手足まごひさへなくば、こゝ兩三年間は日本の地を去りたいとも思ひます。』

『南洋へでも飛去らうと云ふのか。』

『元より南洋は理想の天地ですが、それよりは朝鮮に渡りたいと思ひますので。』

『朝鮮といへば北海道へ行くより却つて手近ぢやが、何ぞ目的があつての事か。』

『實は極めて親密な友人が、彼地で盛大に鑛山事業をやつて居るので、僕も大に奮闘して見たいと考へます。』

『それも面白からう！早速、朝鮮ゆきと極めては何うかい。』

『然し、唯今も申上げる通り、幼い娘を連れて參ることは……』

『何の！その心配は無用にせい。』

『では、叔父さんがお預かり下さいますか。』

『うむ！俺が確に預かつた。』と、直樹は幸枝を兩手に抱へ込んで『なあ、今夜からお前はおぢい樣の子になるんぢやぞ。』

『ほんとうに……』と、幸枝は嬉しいやら悲しいやら『そしてお父さんは何處へいらつしやるの。』

『玄海灘の荒浪を越ねて遠い〳〵朝鮮へ行かれるんぢや。』

『ぢや、もう歸つては。』

『何有、三年經てば屹度戻る約束ぢや。その時はどつさりお土産を持つて來るから、お前はおこなしくお留守をするのぢやよ。』

『ねえ、おぢい樣。』

『何ぢや。』

『わたしね、何にも入らないからお父さんとお母さんと三人一緒にゐたいわ。』

それを聞くと、又しても雅巳は新しい涙に咽んだ。

○歐洲財界近狀

在倫敦財務官より高橋大藏大臣への報告…

二月一日以降國民軍事債券の新規發行をなす新債券は既往又は將來の戰時公債の借換の權利を有せずして四分利付債券は一〇一パーセント半なり五分利付五年券は一〇〇パーセントにて償還し十年券は…せさる可からざる制度なる…國債券に在りては全額の利息を…拂ふが故に所得税は別に之を…証券を所持する事を欲し…又は…札により發行…せらる…所得税は…

△市場一般歡迎 右公表…にも拘らず昨年中三千萬磅…増加したり…株式取引…利率三分に減じた…

…債券發行最終週なる本年一月十八日に終る一週間中銀行貸上高二億二百九十八萬磅…

…郵便局貯金…額に達す…西班牙の財政…六億五千萬ペセタ…十ペセタ歳入上…

○寒中の水と冷水浴の可否 井戸と水道の水

昔から寒中の水は何かに効能があるやうに傳へられて居ますが是は今のやうに水道となつては寒中の水と云つても特に變りは無いさうです井戸水だからであつた時代の話で井戸なれば絶えず水が變つて居るので

▲自然的の味 がありますから寒中にそれを飲むと効能があるのです又使用にも寒中の井戸水は大變温かですから皮膚の爲めにも荒れを防ぎます處が水道は長い鐵管を通つて來るので其間に水が寒氣に觸れる許りでなく水そのものの性も幾分變化されます水道はなものに

▲純良で便利 は違ひありませんが風味と云ふとになると餘り淡泊でそれで寒中の水の効を井戸も水道も同樣に思つて居る人が多いやうですから水道は寒中の水の効は更に無いものですそれから寒中の冷水摩擦は差支ありませんが冷水浴は決して行ふべきものでありません殊にそれが水道の水であつては是非止めねばこんだ事になります一體冷水摩擦や冷水浴が健康によいと云ふのは

▲血行の循環 を良くさせる爲めなので冷水摩擦は有効である水浴は身體全部が水によつて刺戟されますから却つて體温の放けをして効はありません又水浴でなく單に水をあびるにしても井戸水の方がよいのです(某醫師談)

京城の名物(京城南大門通三) カフエータイガーの 洋食とすき燒

女の萬引

新年になつてから日の新聞に見ゆる犯罪の中に萬引と云ふもの程厭なものはありません殊に此萬引は普通の竊盜みなどゝは違つて多く社會に可なりの地位のある男女許りと云ふに至つては甚だ寒心に堪へません△而して此萬引の男女の犯罪の所は多く呉服店です、男の犯罪の動機は男自身でなく其妻なり姿たりの虚榮心を充たさする爲めでありまして寧ろ其薄志弱行を憐に思ひます△萬引の女に至つては多くは是れ虚榮の化身であります、東京には此の萬引の女が隨分多いさうであります、此の萬引を防ぐ爲めに呉服屋では絶えず探偵見たやうなものを使つてます△現在店先で盜んだもので何うしても仕方がありませんものは其儘巡査の手に渡されるのですが、地位ある財産ある人の萬引に對しては呉服屋でも考へて直ぐは之を警察に引渡しません△而して女の後から店員やを行かせて其家を突止め月末にキチンと其萬引した呉服代を掛賣の帳にして請求書を送る事になつてます△此種の月末に請求書を突付けらるゝものは勿論警察に引渡されないから新聞には出ませんが東京市內には此の種の女が甚だ少くないとは實に呆れるではありませんか△而して之が皆な虚榮と云ふものに因はれた墮落した女の果てと聞いては何人も戰慄を禁じ得ないでせう

日報歌壇

高須賀 歌

○光ささ

ほつかりと目覺るすべもあらざるかこの身ひとつがただになやまし

何事かなさんさは思へ疲れつゝゐる

思ふ事昨日も今日もまさらず日にげに木々はかき光りつゝ

うつくしと光り流るゝなかにゐて何もせずうちほうけたり

かくまでにさびしきものが押しならし冬木の山に光りひたさき

さびしくてただ一ひらの雲の影にかさするにも思はる

光りつゝ日は傾けり身も魂も落ちゐるものを思はんさする

夕さむくかがまふ雪にしむらのしひそめば啼きが如く

打めぐる飯も聞へてあたりみな光りそまる淋しき夕べ

○高麗焼の壺 倉成 藤水

いにしへの色にくゆりて苔寂びし焼のつれし壺はも

色褪せし夢のふかに青白き高麗焼匂ひだらやふ

陽はつれに新たに光りたまゆらに甲さびになかれこしか

生きたれば生くる命か死にゆかばすて空しきろふかか

とこさはに流れ〳〵こし夢のたはつまでかながれゆかるゝ

○李太王殿下の薨去を悼み奉りて 磯部 梯男

御病重し聞きて生く楽手高圓にかんこぞ思ふ

宮女皆泣きて呼ばへどとこしはに御かへらず嗚悲し

綾姿さきせる君な眠りより呼びてさん道士もがもや

朝鮮の國內こぞり〳〵哀號の叫びに満ぬ大きかなしみ

大漢門の御前のすが庭に額づきつゝなげく諸人

日報俳壇

寒燈吟 (その一) 平壤洌水吟社選

木彫の人に媚ひるや冬薔薇 同

薄雲の下鮮やかや冬の薔薇 同

丹影の壁に沁み入る寒さ哉 友

苍追ふ神史や冊子冬の薔薇 同

明日の間歳能衣冬薔薇 同

色何を除けし四明冬薔薇 孤月

冬薔薇や硯ほかなる庭の硯 同

寒寒さ大路や鐘の地を這る 同

星寒く殿音空に響きけり 芸雲

舟人の高波叱る寒さ哉 同

兩谷の風も尖りて馬寒し 六斎

熱風呂出て爪切る稼寒さ哉 同

寒燈に影殘し去る巡視哉 同

(一八、一、一八)

□俳諧止調春季大募集

題「春季雜詠」

(選者)東京 田知秋先生、横濱中山中峰先生、大阪楠草人先生、岡山平松先生、京城中村四袖(評)

(入花)珍重拝納(郵券代用不苦)

(締切)一月末日限(但し一人一句)

(賞)

(發表)三月下旬紙上

◎各選三光呈賞

京城明治町一丁目 岸本三元宛

讀者の領分

▲官設共用(二七三)…昨年十一月の始めより破損して…修繕を…使用者一同の…御注意により…

▲水道分室 ▲月々地にては納…

(國利民福生) ▲一月十六日…

(土呂斯生) …今月初旬…

(御願生)

近來の大發明

鐵筋コンクリート製 谷田式金庫の發表 (特許出願中)

(一) 鐵筋コンクリートの利用に就て

諸君は近來世界各國に於て鐵筋コンクリートが如何に盛んに利用せられて居るかを御存じでせう所有建築界に所有土木界に其他色々の方面に利用せられ識者は現在の鐵の時代が近き將來に於て鐵筋コンクリートの時代と成るであらうと申して居ります日本に於ても現在宏大なる家屋の建築防火裝置等は殆ど之れを用ひられ近頃數十百尺の白い大煙突が澤山見受けられるのは皆鐵筋コンクリート製であります何故斯樣に急速なる流行を來したかと申すと元來鐵筋コンクリートで造つたものは絶對耐火絶對堅牢なもので正當なる設計を施せば火事にも燒けず地震にも壞れず水には勿論耐へ耐壓即ち力あり加ふるに自由に恰好體裁を良くすることが出來而かも價格が低廉であるから斯の如く益々流行するのであります

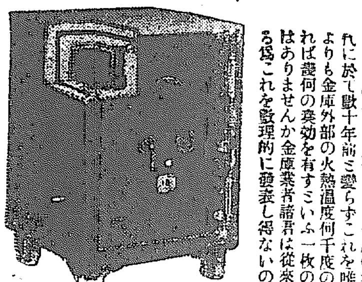
(二) 谷田式金庫と一般金庫の比較

一般鐵製金庫は鐵製とは申し乍ら薄き鐵板(よいもので一分位甚だしきは三厘厚位のもの)の間へ砂をつめ込みたるものにして諸君は試みに一般金庫の裏側をハンマーを持つて少しくたゝけば最良品と稱するものも必ず凹部を生じ中には指頭で押さばペコ〳〵するものもありませう斯かるものは運搬中或は僅かの打撃等による不安あり若しそれ強烈なる火災にでも遭へば實に悲むべき結果を生じます中には火災後金庫の外形の整ひ居るを見て安心して扉を開いて見れば大切なる書類紙幣等全部一變して灰となり居るといふ次第にて從來金庫の奏効を得ましたのは必ず火力の弱き火災の場合に限つて居ります從來の構造にては不結果を生ずるのが當然でありまして忌憚なく申しますと燒けざるが僥倖でありませう、然ればこそたまく火力と防火水の關係により金庫の奏効したる場合偶々しく競ひてこれを廣告し進歩したる現れに於て數十年前と變らずこれを唯一の自慢こし居るではありませんかこんな證明書何百枚よりも金庫外部の火熱温度何千度の場合內部の温度何百度にして一般紙質の發火點何百度なれば幾何の奏効を有すこいふ一枚の責任ある證明書の方が識者には數倍の信用を得らるゝではありませんか金庫業者諸君は從來この重大要點に付試驗したる事なきか或は實物の貧弱なる爲これを數理的に發表し得ないのかもしれません

(三) 谷田式金庫と其の製造の概略

谷田式鐵筋コンクリートは最新の學理を應用したる設計に成り丈夫なる鐵筋に數種の耐火材料を配合したるコンクリートを施したるもので普通のコンクリートやセメント質のものと違ひ火や寒氣や水に會ひ「ヒビ」の出來ることは絶對になく單に鐵筋コンクリートとしても色々の特長を有して居ります

谷田式金庫は右の如き特長を有する鐵筋コンクリートに火災の際扉及扉受は鐵と鐵との間に鐵筋コンクリートを施し各基礎ボルトにてコンクリート中へ取付け錠前文字合せ是等を圍め即ちベンド式でありますから運搬中或は打撃等によつて角の壞れる憂なく扉及扉受は鐵との獨特の新考案に成り極めて體裁よく尚外部の温度二千度の場合(最強火災の温度)四時間を經過しても內部の温度百四十度以上を昇らず紙類中發火點最も低きものも何等の災害なきことを試驗にし諸君に責任を以てこれを申し上ぐる次第であります加ふるに直段も大變安く出來尚お好みによりごんな恰好及大きさのものも或は扉のみにても出來ますから御註索の上御買上を願ひます



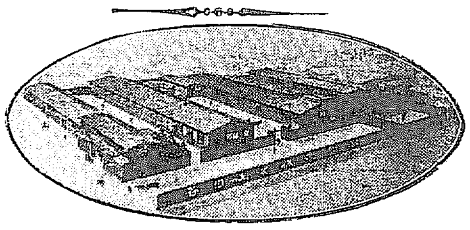
四大特長

(一) 絶對耐火

(二) 絶對堅牢

(三) 體裁優美

(四) 價格低廉



◎特約店募集

本品は今後極めて有望なる商品なりと各階級の人より稱讚され居り候に付弊社は從來の化學工業機械製作以外に今回金庫部を新設致し此際各地及市內の確實有力なる方と協定致し度く相成るべく近日中に銓衡の上定め度候間御希望の方は至急御申込被下度候

尚本品は一般需要家の不安なりと認むる點に付色々の試驗と研究の結果完成したるものに有之今回責任を以て公に發表致したる次第に付一時的場當りの商品と御混同無之樣願候

大阪市外鷺洲町南浦江

谷田工業株式會社 金庫部

電話長土佐堀一四八六番

中込大學教授明治進呈

育兒藥王 神功丸

たいどくちゝはきあをべんつうじなき等消化不良で御困りの御兒さんには是非

信用のあるやの神功丸を御持藥に

定價十錢 廿錢 四十錢 一圓 二圓 三圓 五圓

本舗 東京京橋南槇町一 瓢箪屋藥房 振替東京一八三八四

りん病 請合藥

ばい毒 請合藥

京城南大門外停車場通 ドラック商會 滿鮮本部

京城黄金町二丁目電車通り ドラック商會支店

御買物あり注意詳細八月の本紙御覽

…兵場電車交叉點前同支店

京日案內

一圓前金 切手代用…一割増

△申込用後…

△六個以上の御申込は料に…

△…

有給社員募集

若干名 外交…

…

店員募集

…履歴書携帶來談あれ

京城本町二丁目 日韓書房

◎婦人社員

…

◎鮮語科 英語科

新學…三ヶ月修業 各科補缺募集 外人…名

京城黄金町 …

◎給仕募集

十五歳… 本人來談… 京城本町… 共濟會

◎販賣人募集

盛なる新案…毎戸必需の…

外交員募集

月收三十五圓以上…

京城本町三丁目 山崎商店

龍山 伊勢商會

◎レール至急賣却

京城黄金町一丁目六二 産興商會

◎…

…地所…六百坪五…

京城黄金町一丁目六二 産興商會

◎軍隊拂下大安賣

茶褐外套、毛布、冬茶褐小倉服、アイボーシャツ袴下、冬綿服、ジャケツ、軍帽、靴下、雨合羽

右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候

川本衣服店

龍山元町二丁目 電話五六 振替口座一五六九

最新刊

元帥伯爵 東郷平八郎閣下題辭 侯爵大隈重信閣下序文 文學博士芳賀矢一先生編

世界大戰史 前編

陸軍大將 松川敏胤閣下序文 海軍中將 佐藤鐵太郎閣下序文

定價八…

京城本町一 大阪屋號

醇良無双清酒

衛生無害品質無双

發賣元

京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番

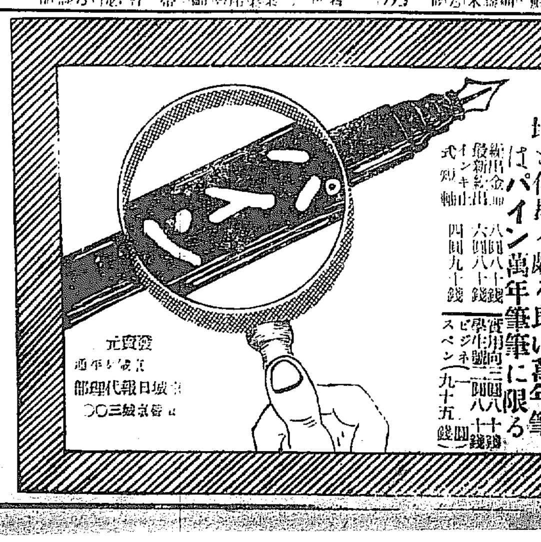
釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

外科 皮膚科 瀬戸醫院

京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話四九八二

(診察夜九時迄)

醫學士 瀬戸潔



金ペンの氣持よく走る心地と体裁の頗る良い萬年筆はパイン萬年筆に限る

新型金ペン 最新式 インキ止 式 知軸 八圓八十錢 六圓八十錢 四圓九十錢

實用向 學生向 ビジネス 一圓八十錢 九十五錢

發賣元 京城日報代理部

資本金參百萬圓

(明治三十八年設立)

當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

株式會社 漢城銀行

京城南大門通一丁目十四番地

頭取 李允用

専務取締役 韓相龍

支配人 石鎭衡

電話長六〇一二〇二五番 振替口座京城一〇一二〇…

▲支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門、釜山、東京

▲出張所所在地 鍾路、東萊